

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
1回	1981年08月	神谷 哲郎	国立循環器病センター 小児科	序	
1回	1981年08月	川崎 富作	日赤医療センター 小児科	<特別講演> 川崎病	
1回	1981年08月	鈴木 盛一	国立循環器病センター 研究所	川崎病患者・抹梢血液中の Suppressor T Cellについて	
1回	1981年08月	安居 資司	奈良県立医科大学 小児科	MCLSにおける血中凝固・線溶能の動態	
1回	1981年08月	播磨 良一	明和病院 小児科	<追加発言> TEG所見からみた川崎病の凝固能亢進について	
1回	1981年08月	馬場 國藏	神戸市立中央市民病院 小児科	腎炎症状を呈したMCLC	
1回	1981年08月	大里 光伸	耳原総合病院 小児科	特異な川崎病または川崎病類似疾患の2例	
1回	1981年08月	荻野 廣太郎	関西医科大学 小児科	生後58日に発症し右冠動脈閉塞、左冠動脈瘤を認めた川崎病男児の一症例	
1回	1981年08月	四宮 敬介	京都大学医学部 小児科	川崎病 or PN <指定演題>	
1回	1981年08月	森川 佑二	京都第二赤十字病院 小児科	京都市およびその周辺の川崎病の発生状況よりみた本症の伝播について	
1回	1981年08月	竹中 恒夫	堺市学校医会	主治医(一般小児科医)の管理下におかれた小・中学校在籍の川崎病既往者の現況とその問題点	
1回	1981年08月	高田 洋	大津市民病院 小児科	川崎病既往者と学童検診	
1回	1981年08月	児嶋 茂男	明和病院 小児科	<追加発言> 断層心エコー図による川崎病冠動脈瘤の診断に必要な冠動脈の描出範囲について	
1回	1981年08月	播磨 良一	明和病院 小児科	川崎病の不整脈	
1回	1981年08月	篠原 徹	近畿大学 心臓小児科	当院における川崎病心血管病変の診断、治療、管理について	
1回	1981年08月	三浦 靖徳	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	心精検を行なった川崎病301症例の臨床的検討	
1回	1981年08月	北村 惣一郎	奈良県立医科大学 第3外科	川崎病(MCLS)に起因する冠動脈病変の外科的療法 <指定演題>	
1回	1981年08月	木島 良民	国立循環器病センター 小児科	川崎病急性期におけるステロイドパルス療法の実態	
2回	1982年03月	四宮 敬介	京都大学 小児科	序	
2回	1982年03月	古庄 巻史	小倉記念病院 小児科	<特別講演> 川崎病におけるダニ抗原の意義	
2回	1982年03月	濱島 義博	京都大学 病理学	<特別講演> 川崎病の病理とその病因の研究	
2回	1982年03月	渡辺 弘司	国立循環器病センター 小児科	意識障害、全身浮腫、電解質異常をきたした川崎病2例	
2回	1982年03月	森岡 芳雄	耳原総合病院 小児科	水痘を合併したMCLSの1例	
2回	1982年03月	星野 恒雄	京都大学 病理学	特異な川崎病の2剖検例	
2回	1982年03月	松尾 好祥	国立循環器病センター 研究所	急性期川崎病患者の末梢血中に見られた Immune Complex とそれによる in vitro suppressor cell の誘導	
2回	1982年03月	木崎 善郎	京都府立医科大学 小児科	京都市とその周辺地域での昭和56年末から川崎病多発における疫学的検討	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
2回	1982年03月	荻野 廣太郎	関西医科大学 小児科	<追加発言> 1981年末よりみられた川崎病多発に関する疫学的検討 —関西医科大学ならびに関連病院における調査—	
2回	1982年03月	馬場 國蔵	神戸市立中央市民病院 小児科	兵庫県の川崎病の実態	
2回	1982年03月	滝沢 森子	市立池田病院 小児科	当院における川崎病患者の断層心エコー図およびその臨床症状の検討	
2回	1982年03月	近藤 千里	日赤医療センター 小児科	川崎病急性期における冠動脈病変の観察 —おもにリニア式エコーを用いて—	
2回	1982年03月	篠原 徹	近畿大学 心臓小児科	川崎病児にみられた一過性大動脈弁閉鎖不全症の 1例	
2回	1982年03月	林 鐘声	京都府立医科大学 小児科	虚血性心臓病を認めた川崎病 15例	
2回	1982年03月	河内 寛治	奈良県立医科大学 第3外科	MCLSの冠動脈瘤の regression に関する検討	
2回	1982年03月	児嶋 茂男	明和病院 小児科	川崎病冠動脈瘤に対するパルス療法の効果	
2回	1982年03月	林 鐘声	京都府立医科大学 小児科	<追加発言> アスピリン単独治療例での冠動脈所見の変化	
2回	1982年03月	中野 正大	県西部浜松医療センター 小児科	川崎病冠動脈瘤予防法の検討 —活性酸素に対するビタミン E療法について—	
2回	1982年03月	小西 裕	京都大学 第二外科	川崎病に続発した心合併症に対する 2手術例 —大動脈冠動脈バイパス術と僧帽弁輪形成術—	
3回	1982年08月	馬場 國蔵	神戸市立中央市民病院 小児科	序	
3回	1982年08月	金森 憲明	阪南中央病院 小児科	発熱、結膜充血で第10病日に急死した4才男児 —川崎病のIPN—	
3回	1982年08月	前田 真知子	枚方市民病院 小児科	川崎病に敗血症を伴った一幼児例	
3回	1982年08月	荻野 廣太郎	関西医科大学 小児科	イレウスを合併し両側冠動脈瘤を認めた MCLSの一女児例	
3回	1982年08月	田中 正樹	滋賀医科大学 小児科	川崎病発症後、川崎病再燃を思わせた JRAの一症例	
3回	1982年08月	国府 肇	神戸海星病院 小児科	MCLSにおける好中球の中毒顆粒、アルカリフォスファターゼおよび NBT について	
3回	1982年08月	矢追 公一	大阪医科大学 小児科	川崎病における血漿と血小板中ビタミン E値の変動	
3回	1982年08月	山内 英子	近畿大学 小児科	川崎病患児における抹梢血 Monocyte機能について	
3回	1982年08月	安居 資司	奈良県立医科大学 小児科	MCLSの皮膚組織における数種凝固因子の局在性の検討 —Schönlein-Henoch 紫斑病との比較—	
3回	1982年08月	中野 正大	県西部浜松医療センター 小児科	MCLSダニ病因説の検討	
3回	1982年08月	古庄 巻史	小倉記念病院 小児科	ダニ抗原に対する川崎病患児リンパ球の反応について	
3回	1982年08月	川村 仁志	社会保険紀南総合病院 小児科	川崎病に合併した心筋梗塞の一救命例	
3回	1982年08月	菅原 徹雄	大阪医科大学 放射線科	川崎病における大動脈弾性の検討	
3回	1982年08月	平中 俊行	大阪大学 第一外科	川崎病における不整脈 —Holter 心電図法による検討—	
3回	1982年08月	河内 寛治	奈良県立医科大学 第三外科	川崎病二例の A-C bypass 術後遠隔期の負荷血行動態	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
3回	1982年08月	馬場 國蔵	神戸市立中央市民病院 小児科	<パネルディスカッション> 川崎病急性期の治療、とくにパルス療法をめぐって	
3回	1982年08月	児嶋 茂男	明和病院 小児科	<パネルディスカッション> 急性期冠動脈に異常を認めた時点でのパルス療法	
3回	1982年08月	石田 貴和	松戸市立病院 小児科	<パネルディスカッション> パルス療法の経験	
3回	1982年08月	藪部 友良	日赤医療センター 小児科	<パネルディスカッション> 川崎病急性期の治療 -パルス療法をめぐって-	
3回	1982年08月	瀬戸 嗣郎	静岡県立こども病院 感染免疫アレルギー科	<パネルディスカッション> 川崎病における急性期パルス療法の治療効果 -control study の試み-	
3回	1982年08月	神谷 哲郎	国立循環器病センター 小児科	<パネルディスカッション> 川崎病による冠動脈障害形成阻止のための急性期ステロイド剤短期大量 静注療法の有効性	
4回	1983年02月	濱島 義博	京都大学 病理学	<特別演題> 川崎氏病 -その原因に挑む-	
4回	1983年02月	大西 敏雄	関西医科大学 小児科	川崎病とウイルス性、細菌性感染症患児のリンパ球サブセットについて	
4回	1983年02月	古庄 巻史	小倉記念病院 小児科	川崎病における γ -グロブリン大量静注療法	
4回	1983年02月	藪部 友良	日赤医療センター 小児科	当院における運動負荷テスト	
4回	1983年02月	新垣 義夫	国立循環器病センター 小児科	超音波パルスドプラ法による冠動脈瘤内血流の分布	
4回	1983年02月	星野 恒雄	京都大学 第三内科	川崎病における冠動脈造影をどう読むべきか -死後冠動脈造影と肉眼的病理所見との対比-	
4回	1983年02月	小川 貴	大阪大学 小児科	川崎病冠動脈瘤に対する再造影所見の評価 -治療面よりの検討-	
4回	1983年02月	中川 雅生	京都府立医科大学 小児科	学童期における川崎病患児の管理について	
4回	1983年02月	中野 正大	県西部浜松医療センター 小児科	心筋梗塞を合併した川崎病の2症例 -抗凝血療法の検討について-	
4回	1983年02月	西岡 研哉	京都大学 小児科	発症40病日にて心筋梗塞、心室細動をきたした川崎病の一例	
4回	1983年02月	篠原 徹	近畿大学 心臓小児科	川崎病罹病後に心筋梗塞発作をきたした5例の follow up study	
4回	1983年02月	小川 浩史	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	川崎病による重症例の検討	
4回	1983年02月	小柳 仁	東京女子医科大学 心研外科	川崎病における冠動脈外科治療の臨床経験	
4回	1983年02月	松村 龍一	大阪大学 第一外科	僧帽弁置換術後、異種弁狭窄をきたした MCLSの一例	
4回	1983年02月	柳川 敏彦	和歌山県立医科大学 小児科	突然死した川崎病と思われる一剖検例	
4回	1983年02月	榎木 豊	奈良県立医科大学 第一病理	川崎病が疑われる12才男子、突然死の一剖検例	
5回	1983年08月	横山 達郎	近畿大学 心臓小児科	序	
5回	1983年08月	古川 富美枝	耳原総合病院 小児科	当院における6か月未満の川崎病患児について	
5回	1983年08月	小田部 栄助	京都第一赤十字病院 小児科	川崎病罹病後10年目に大動脈弁閉鎖不全症を認めた15才男子例につい て	
5回	1983年08月	林 鐘声	京都府立医科大学 小児科	冠動脈狭窄例の亜硝酸アミル負荷による STIについて	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
5回	1983年08月	今北 正美	国立循環器病センター 病理	川崎病の冠状動脈の内膜肥厚について	
5回	1983年08月	古庄 巻史	小倉記念病院 小児科	川崎病患児の同胞にみられた異常反応	
5回	1983年08月	高 大成	京都大学 第二病理学	もどし電顕固定包埋法による川崎病 2剖検心からの micro-organism の検索	
5回	1983年08月	荻野 廣太郎	関西医科大学 小児科	皮膚生検にて漬島粒子様小体を確認したいわゆる不全型川崎病の一女児例	
5回	1983年08月	播磨 良一	明和病院 小児科	<追加発言> 皮膚生検にて Hamashima Particle を認めた川崎病再発の1症例	
5回	1983年08月	児嶋 茂男	明和病院 小児科	巨大冠動脈瘤を残した川崎病不全型の1症例	
5回	1983年08月	中野 正大	県西部浜松医療センター 小児科	巨大冠動脈瘤を合併した不全型川崎病の1症例	
5回	1983年08月	多田 明央	大阪市立大学 小児科	いわゆる症状の少ない MCLS の検討 —確定診断に5症状は必要か—	
5回	1983年08月	楠原 充子	関西医科大学 小児科	川崎病およびその不全型の臨床的比較検討	
5回	1983年08月	林 北見	日本赤十字社医療センター 小児科	川崎病不全型として扱った症例の臨床的検討	
5回	1983年08月	藤原 允子	新香里病院	臨床的に川崎病不全型または乳児多発性動脈炎として診断された 4剖検心の検討 —臨床的川崎病典型例の剖検所見との比較—	
5回	1983年08月	太田 邦明	静岡県立こども病院 感染免疫アレルギー科	不全型川崎病の診断と管理	
5回	1983年08月	篠原 徹	近畿大学 心臓小児科	本院における川崎病罹病児の管理	
5回	1983年08月	竹中 恒夫	境市学校医会 心臓検診班	境市の学童生徒に於ける川崎病既往児の現況とその管理について	
5回	1983年08月	中野 博行	静岡県立こども病院 循環器科	静岡県における学童生徒の川崎病心臓検診	
5回	1983年08月	馬場 國藏	神戸市立中央市民病院 小児科	神戸市における昭和57年度小学1年生の川崎病既往児の実態と当面のわれわれの管理指導について	
5回	1983年08月	杉山 はつみ	国立循環器病センター 小児科	川崎病冠動脈障害による心筋虚血の臨床診断 —生活指導の基盤として—	
5回	1983年08月	古庄 巻史	小倉記念病院 小児科	<第4回演題> 川崎病におけるγ-グロブリン大量静注療法	
5回	1983年08月	小川 浩史	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	<第4回演題> 川崎病による重症例の検討	
5回	1983年08月	古庄 巻史	小倉記念病院 小児科	<第3回演題> ダニ抗原に対する川崎病患児リンパ球の反応について	
6回	1984年02月	播磨 良一	明和病院 小児科	序	
6回	1984年02月	菊田 英明	北海道大学 癌研ウイルス部門	<特別演題> 川崎病とEBウイルス初感染の異常について	
6回	1984年02月	山脇 保	近江八幡市民病院	急性腎不全を合併した川崎病の一例	
6回	1984年02月	井上 文夫	京都府立医科大学 小児科	アスピリン服用中の川崎病患児の尿中アミノ酸とアスピリン代謝産物	
6回	1984年02月	高 大成	京都大学 病理学	川崎病における精巢の病理組織学的検討	
6回	1984年02月	河盛 重造	静岡県立こども病院 感染免疫アレルギー科	川崎病における時期別重症度	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
6回	1984年02月	中野 博行	静岡県立こども病院 循環器科	再造影による川崎病冠動脈病変所見の検討	
6回	1984年02月	川上 郁夫	日赤医療センター 小児科	PTCRを施行した心筋梗塞の一例	
6回	1984年02月	荻野 廣太郎	関西医科大学 小児科	川崎病急性期に γ -グロブリン大量静注療法を施行した症例に認められた冠動脈障害について	
6回	1984年02月	古庄 巻史	川崎病に対する免疫グロブリン療法研究グループ	川崎病における γ -グロブリンの大量点滴療法 —多施設による control study—	
6回	1984年02月	添田 健	小倉記念病院 小児科	左回旋枝のみに冠動脈瘤を生じた一症例	
6回	1984年02月	児嶋 茂男	明和病院 小児科	断層心エコー検査で冠動脈瘤の検出が困難であった症例の検討	
6回	1984年02月	高橋 秀一	天理病院 臨床病理	断層心エコーによる川崎病冠動脈瘤の検討 —とくに偽陽性について—	
6回	1984年02月	中谷 茂和	国立循環器病センター 小児科	断層心エコー図による川崎病冠動脈病変診断の問題点 — False positive, False negative 例について—	
6回	1984年02月	酒井 可夫	兵庫県立尼崎病院 心臓センター	遠隔期MCLSの断層心エコー検査と心臓造影検査との比較	
6回	1984年02月	中野 正大	県西部浜松医療センター 小児科	断層心エコー検査での注意点及び限界について —経時的断層心エコー検査による冠動脈瘤の変化と冠動脈造影所見の検討—	
6回	1984年02月	野島 恵子	静岡県立こども病院 循環器科	川崎病冠動脈病変の診断における断層心エコー検査の問題点	
6回	1984年02月	藤原 久義	京都大学 第三内科	川崎病における死後冠動脈病変の断層心エコーと肉眼所見との対応	
7回	1984年08月	北村 惣一郎	奈良県立医科大 第三外科	序	
7回	1984年08月	須磨 幸蔵	東京女子医科大学第二病院 心臓血管外科	<特別講演> 川崎病冠動脈瘤の血行動態	
7回	1984年08月	山崎 嘉久	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	川崎病に僧帽弁閉鎖不全症を合併した2症例	
7回	1984年08月	南淵 明宏	奈良県立医科大学 第三外科	僧帽弁閉鎖不全・冠動脈瘤を呈した6才男子川崎病の手術例	
7回	1984年08月	平中 俊行	大阪大学 第一外科	川崎病による僧帽弁逆流症例の検討	
7回	1984年08月	藪部 友良	日赤医療センター 小児科	MRを合併した川崎病2症例	
7回	1984年08月	中野 博行	静岡県立こども病院 循環器科	川崎病に続発する僧帽弁閉鎖不全および大動脈弁閉鎖不全の臨床的検討	
7回	1984年08月	藤原 兌子	京都女子大学 家政学部	川崎病における心弁膜炎の病理組織学的研究	
7回	1984年08月	幸道 直樹	京都府立医科大学 小児科	アスピリン服用中の川崎病患児におけるカルニチン動態について	
7回	1984年08月	中野 正大	県西部浜松医療センター 小児科	川崎病合併症と低アルブミン血症との相関について —特に心臓液貯留例・胸水貯留例・外水頭症合併例について—	
7回	1984年08月	塩見 典子	三菱京都病院 小児科	γ -グロブリン大量点滴療法で効果がみられなかった川崎病の1例	
7回	1984年08月	古川 福実	京都大学 病理学教室	川崎病患者における非特異的抗体産生の可能性について	
7回	1984年08月	糸井 利幸	福井愛育病院 小児科	左心室瘤を呈した不全型川崎病の1乳児例	
7回	1984年08月	山本 隆	近畿大学 小児科	脳症を呈したMCLSの1例	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
7回	1984年08月	中野 真美	関西医大香里病院 小児科	イレウスを合併した川崎病の1例	
7回	1984年08月	鈴木 淳子	国立循環器病センター 小児科	川崎病後の冠動脈障害に対するAC/バイパス6例の検討 —その適応基準を中心に—	
7回	1984年08月	小川 浩史	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	心筋シンチグラムによる川崎病(冠動脈障害例)45例の検討	
7回	1984年08月	小川 實	大阪大学 小児科	川崎病冠動脈病変における Digital Subtraction Angiography の有用性に関する検討	
7回	1984年08月		近畿川崎病研究会 世話人会	<アンケート> 川崎病患者発生数アンケート報告	
8回	1985年02月	藤原 久義	京都大学医学部 第三内科	序	
8回	1985年02月	古庄 巻史	小倉記念病院 小児科	<特別講演> 川崎病におけるγ-グロブリン療法について	
8回	1985年02月	天津 治子	明和病院 耳鼻咽喉科	感音難聴を呈したMCLS既往児の2症例	
8回	1985年02月	吉川 栄治	兵庫県立尼崎病院心臓センター 小児科	MCLS既往学童に対する心臓検診の意義	
8回	1985年02月	黒田 啓史	国立舞鶴病院 小児科	舞鶴市周辺地域における冠動脈障害頻度の地域差について	
8回	1985年02月	平山 健二	和歌山県立医大 小児科	川崎病経過中に一過性にIgAの低下を来した2例 —川崎病での血清免疫グロブリン値の経時変化—	
8回	1985年02月	中野 正大	県西部浜松医療センター 小児科	川崎病におけるγ-グロブリン療法の適応基準について	
8回	1985年02月	久保 実	石川県立中央病院 小児内科	免疫グロブリン大量療法とT細胞サブセットおよび補体の変動	
8回	1985年02月	岡本 力	福井愛育病院 小児科	川崎病心筋梗塞の3症例	
8回	1985年02月	松村 正彦	国立姫路病院	心筋梗塞を起こした川崎病 4例の検討	
8回	1985年02月	山崎 嘉久	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	川崎病後の心筋梗塞9例の検討	
8回	1985年02月	藪部 友良	日赤医療センター 小児科	当科における心筋梗塞例の検討	
8回	1985年02月	中野 博行	静岡県立こども病院 循環器科	川崎病における心筋梗塞11例の臨床的検討	
8回	1985年02月	鈴木 淳子	国立循環器病センター 小児科	川崎病後の虚血性心臓病	
8回	1985年02月	四方 伸明	関西医科大学 第二病理	生後58日に発症し、陳旧期再梗塞にて死亡した一剖検例	
8回	1985年02月	藤原 兌子	京都女子大学家政学部 食物学科	川崎病における心筋梗塞の臨床病理学検討	
8回	1985年02月	小川 實	大阪大学医学部 小児科	僧帽弁閉鎖不全及び大動脈弁の変形をきたした川崎病の一例	
8回	1985年02月	藤原 徹	近畿大学 心臓小児科	右冠動脈閉塞8例の検討	
9回	1985年08月	大國 英和	大阪市立桃山病院 感染症センター	序	
9回	1985年08月	柳川 洋	自治医科大学 公衆衛生学教室	<特別講演> 川崎病疫学研究の現状	
9回	1985年08月	播磨 良一	明和病院 小児科	発病早期にスリットランプ検査をうけた川崎病について —川崎病の早期診断について—	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
9回	1985年08月	塩見 典子	三菱京都病院 小児科	2峰性の心嚢液貯留をきたした川崎病の2例	
9回	1985年08月	荻野 廣太郎	大阪川崎病研究会	川崎病の治療における免疫グロブリン製剤の臨床評価	
9回	1985年08月	松下 享	大手前病院 小児科	川崎病の双生児例	
9回	1985年08月	鈴木 啓之	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病罹患後、伝染性単核球症を罹患した1病例 —EBウイルス感染症との関連について—	
9回	1985年08月	河野 修造	大阪府医師会勤務医部会	川崎病の疫学的検討	
9回	1985年08月	高 泳俊	大阪市立桃山病院 感染症センター	川崎病の2剖検例	
9回	1985年08月	吉岡 秀幸	京都大学医学部 老年科	川崎病剖検例における障害変の臨床病理学的検討	
9回	1985年08月	清水 城司	京都大学医学部 第二病理	川崎病剖検心における microorganism の検索	
9回	1985年08月	鈴木 淳子	国立循環器病センター 小児科	川崎病の心血管病変 —1,100例の心カテーテル検査における—	
9回	1985年08月	藪部 友良	日赤医療センター 小児科	冠動脈瘤の予後 —冠動脈再造影所見よりの検討—	
9回	1985年08月	桑原 尚志	国立循環器病センター 小児科	川崎病による冠動脈障害に対する各種薬剤の効果	
9回	1985年08月	河内 寛治	奈良県立医科大学 第三外科	川崎病外科治療遠隔期の血行動態	
10回	1986年02月	荻野 廣太郎	関西医科大学 小児科	序	
10回	1986年02月	直江 史郎	東邦大学医学部付属大橋病院 病理学研究室	<特別講演> 川崎病の病理(心臓を除く)	
10回	1986年02月	鈴木 盛一	国立循環器病センター 研究所	川崎病同胞発生例 14家系のHLA type の検討	
10回	1986年02月	寺田 直人	京都府立医科大学 小児科	アスピリン服用中の川崎病患児の尿中カルニチンについて	
10回	1986年02月	土屋 恵司	国立循環器病センター 小児科	川崎病既往児における冠動脈以外の血管障害	
10回	1986年02月	寺口 正之	中野小児病院	川崎病における各種合併症の頻度について	
10回	1986年02月	屋比久 盛夫	大阪市立桃山病院感染症センター 小児科	当院における心以外の川崎病合併例について	
10回	1986年02月	片岡 正	日本赤十字社医療センター 小児科	川崎病経過中にブドウ球菌心内膜炎を合併した1例	
10回	1986年02月	武内 英二	京都大学医学部病理学教室 第二講座	川崎病における腎病変の病理学的検討	
10回	1986年02月	大塚 学而	京都大学医学部病理学教室 第二講座	川崎病における肝病変の臨床病理学的検討 —特に典型例と不全型例との比較について—	
10回	1986年02月	根来 博之	和歌山県立医科大学 小児科	リアルタイム二次元ドブラー法による急性期川崎病患児の三尖弁逆流シグナルの検討	
10回	1986年02月	中野 博行	静岡県立こども病院 循環器科・感染免疫アレルギー科	川崎病冠動脈瘤予知スコアの再検討	
10回	1986年02月	中野 正六	県西部浜松医療センター 小児科	川崎病における冠動脈瘤の早期予知 —冠動脈病変と血清 albumin, cholinesterase 活性, prealbumin, retinol-binding protein との関連について—	
10回	1986年02月	見崎 茂男	明和病院 小児科	断層心エコー図による川崎病急性期の経過観察 —治療剤との検討—	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
10回	1986年02月	田淵 實	近畿大学医学部 心臓小児科	急性期の明らかな冠動脈瘤形成を伴わない高度限局性狭窄を認めた川崎病の1例	
10回	1986年02月	小川 實	大阪大学医学部 小児科	A-C bypass 術後1年目に狭心痛を呈した川崎病の1例	
11回	1987年02月	鈴木 淳子	国立循環器病センター 小児科	A-Cバイパス術後1年の経過観察	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1495-1500, 1987.
11回	1987年02月	浜岡 建城	京都府立医科大学附属 小児疾患研究施設 内科部門	川崎病発症後16年目で不整脈を契機に発見された陳旧性心筋梗塞の1例 —川崎病既往を知らずに経過した症例での問題点について—	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1501-1508, 1987.
11回	1987年02月	藤原 允子	京都女子大学 家政学部 食物学科	冠動脈瘤のない川崎病剖検例における冠動脈病変の病理組織学的検討	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1509-1512, 1987.
11回	1987年02月	藤岡 義樹	滋賀医科大学 小児科	小児におけるdipyridamole静注の電気生理学的影響	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1513-1517, 1987.
11回	1987年02月	有田 耕司	公立学校共済組合近畿中央病院 小児科	川崎病は細菌感染症か？ウイルス感染症か？ —血清ALP, LDH値の変動から—	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1521-1525, 1987.
11回	1987年02月	山川 勝	神戸市立中央市民病院 小児科	上行大動脈の瘤様拡大とその退縮をみた川崎病の一例	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1527-1532, 1987.
11回	1987年02月	小野 安生	国立循環器病センター 小児科	タリウム心筋イメージングにおける“偽陽性例の検討”	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1535-1541, 1987.
11回	1987年02月	服部 弘美	滋賀医科大学 小児科	心臓液、胸水および腹水を伴い、ステロイド剤が有効であった川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1543-1547, 1987.
11回	1987年02月	奥村 光祥	和歌山赤十字病院 小児科	急性期にDIC徴候を示し冠動脈変化を起こしたMCLSの1例	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1548-1552, 1987.
11回	1987年02月	安居 資司	奈良県立奈良病院 小児科	溶血性尿毒症症候群を合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1553-1558, 1987.
11回	1987年02月	鈴木 啓之	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病に麻疹性イレウスを合併した2症例 —静注用アスピリン製剤(ヴェノピリン)の効果—	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1559-1563, 1987.
11回	1987年02月	中野 博行	静岡県立こども病院 循環器科	川崎病における巨大冠動脈瘤(3度病変)の発生予測	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1565-1569, 1987.
11回	1987年02月	藤部 友良	日赤医療センター 小児科	川崎病治療開始病日と冠動脈障害	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1571-1574, 1987.
11回	1987年02月	中野 正六	岐阜県立多治見病院 小児科	Intact γ -globulin療法の川崎病冠動脈瘤予防効果と発熱について	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1575-1579, 1987.
11回	1987年02月	沢田 淳	京都府立医科大学 小児科	<特別講演> 病原ウイルス学の現在	PROGRESS IN MEDICINE 7 (8) 1581-1590, 1987.
12回	1988年03月	横野 征一郎	兵庫県立尼崎病院心臓センター 小児部	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1736-1737, 1988.
12回	1988年03月	中嶋 敏宏	南大阪病院 小児科	マイコプラズマ肺炎を合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1738-1742, 1988.
12回	1988年03月	武知 哲久	大阪市立北市民病院 小児科	僧帽弁閉鎖不全、心筋障害の後遺症を伴い、冠動脈病変は早期 regressionした川崎病の一例	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1743-1749, 1988.
12回	1988年03月	鈴木 啓之	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病児の血清中TNF (tumor necrosis factor) の動態	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1750-1755, 1988.
12回	1988年03月	片岡 正	日本赤十字社医療センター 小児科	巨大冠動脈瘤内腔に血栓に対する血栓溶解療法	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1756-1761, 1988.
12回	1988年03月	石田 明人	加古川市民病院 小児科	兵庫県東播地域における川崎病10年間の検討	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1762-1766, 1988.
12回	1988年03月	中野 正六	岐阜県立多治見病院 小児科	川崎病発症3年後、11年後、13年後に発見された巨大冠動脈瘤合併3症例 の管理について	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1767-1770, 1988.
12回	1988年03月	藤原 允子	京都女子大学 家政学部 食物学科	川崎病症例における冠動脈瘤の大きさと発病初期の臨床検査成績	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1771-1774, 1988.
12回	1988年03月	中野 博行	静岡県立こども病院 循環器科	川崎病急性期の主要症状から冠動脈瘤の発生予測は可能か	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1775-1780, 1988.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
12回	1988年03月	村上 洋介	兵庫県立尼崎病院心臓センター 小児部	尼崎市における川崎病既往学童検診の現況	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1781-1785, 1988.
12回	1988年03月	梅本 正和	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	心血管病変を認めた川崎病患者 76例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1786-1791, 1988.
12回	1988年03月	高橋 理明	大阪大学微生物病研究所 麻疹部門	<特別講演> 川崎病とレトロウイルス	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1792-1799, 1988.
12回	1988年03月	横山 達郎 鈴木 淳子	近畿大学医学部 心臓小児科 国立循環器病センター 小児科	<ワークショップ> 川崎病罹患児童・生徒の生活管理	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1800-1807, 1988.
12回	1988年03月	神谷 康隆	京都府立医科大学附属 小児疾患研究施設 内科部門	冠動脈後遺症のある川崎病既往学童の生活管理 —運動負荷断層心エコー法による検討—	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1808-1819, 1988.
12回	1988年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 心臓小児科	川崎病心血管病変所有児管理の実態 —とくに学童・生徒について—	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1820-1825, 1988.
12回	1988年03月	奥野 昌彦	国立循環器病センター 小児科	児童、生徒の心臓検診における川崎病既往児の取り扱いの実態 —大阪府吹田市の場合—	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1826-1831, 1988.
12回	1988年03月	清沢 伸幸	京都第二赤十字病院 小児科	川崎病学校検診の問題点	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1832-1838, 1988.
12回	1988年03月	佐賀 宏子	近畿大学医学部 精神神経科	川崎病患者の心身に関する問題	PROGRESS IN MEDICINE 8 (7) 1839-1843, 1988.
13回	1989年03月	上村 茂	和歌山県立医科大学 小児科	特集：川崎病—最近の臨床経過を中心に— 巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 1959-1959, 1989.
13回	1989年03月	鈴木 啓之	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病罹患後6年目に自己免疫性肝炎を発症した1例 —川崎病急性期の肝生検との比較—	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 1960-1967, 1989.
13回	1989年03月	中野 正大	岐阜県立多治見病院 小児科	左前腕のTSST-1産生ブドウ球菌性蜂窩織炎に続発した川崎病の1症例 —川崎病のブドウ球菌毒素病因説の提言—	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 1969-1975, 1989.
13回	1989年03月	山脇 保	滋賀医科大学 小児科	多彩な合併症を呈した川崎病の1女児例	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 1977-1984, 1989.
13回	1989年03月	宮里 裕典	近畿大学医学部附属病院 小児科	多彩な合併症と特異な経過をとった川崎病の1再発例	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 1985-1990, 1989.
13回	1989年03月	三谷 義英	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	冠動脈障害を認めず心不全を来した川崎病に合併した心筋炎の2例	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 1991-1998, 1989.
13回	1989年03月	藤原 兌子	京都女子大学家政学部 食物学科	心筋炎、心筋梗塞症例の心室における心房性ナトリウム利尿ポリペプチドの発現 —小児川崎病症例において—	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 1999-2002, 1989.
13回	1989年03月	平山 健二	国保日高総合病院 小児科	川崎病における血清シアル酸値および尿中 NAG値の推移	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 2003-2009, 1989.
13回	1989年03月	鳥谷部 森	新潟大学医学部 小児科	MCLSにおける血中ムコタンパクの変動と病態の関連	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 2011-2017, 1989.
13回	1989年03月	岩谷 一	国立循環器病センター 小児科	冠動脈造影上動脈瘤小から局所性狭窄が出現した例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 2019-2025, 1989.
13回	1989年03月	神谷 康隆	京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門	運動負荷心電図でST低下を認めた正常冠動脈の川崎病既往の2例	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 2027-2034, 1989.
13回	1989年03月	白石 公	京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門	川崎病の急性期に連合弁膜症と心筋梗塞を認めた乳児例 —小動脈瘤の閉塞により心筋梗塞を来した1例—	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 2035-2041, 1989.
13回	1989年03月	吉林 宗夫	京都大学医学部 小児科	川崎病冠動脈障害におけるポジトロン CT所見 —201TI心筋SPECTとの比較検討—	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 2043-2050, 1989.
13回	1989年03月	竹中 恒夫	堺市学校医会	大阪府下の全高等学校、中学校、小学校における川崎病既往児の実態	PROGRESS IN MEDICINE 9 (7) 2051-2056, 1989.
13回	1989年03月	京極 方久	東北大学医学部 病理学第一	<特別講演> 川崎病血管炎の病理 —動物モデルとの比較—	
14回	1990年03月	小川 實	大阪市立小児保健センター 循環器科	巻頭言	
14回	1990年03月	浜岡 建城	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	川崎病既往児におけるDipyridamole負荷での冠循環動態	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1377-1384, 1990.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
14回	1990年03月	小野 安生	国立循環器病センター 小児科	川崎病におけるDipyridamole負荷Tl-201心筋イメージング —Dipyridamole負荷量による所見の差異について—	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1385-1391, 1990.
14回	1990年03月	杉浦 康夫	彦根中央病院 小児科	川崎病における血小板容積(平均血小板容積および血小板分布幅)の検討	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1393-1397, 1990.
14回	1990年03月	藤原 兌子	京都女子大学 食物学科	川崎病の心筋梗塞でみられる収縮帯壊死の分布について	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1399-1401, 1990.
14回	1990年03月	三谷 義英	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	川崎病冠動脈病変の定量的タリウム心筋シンチグラフィによる評価 —心筋シンチ上偽陰性ないしequivocalな狭窄性病変の部位と形態—	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1403-1408, 1990.
14回	1990年03月	吉林 宗夫	京都大学医学部 小児科	川崎病冠動脈障害におけるポジトロン CT所見 —心電図所見の対比—	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1409-1412, 1990.
14回	1990年03月	尾内 善四郎	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	<レクチャー> 第9回日本川崎病研究会パネルディスカッションから —ガンマグロブリン静注療法の適応と用量・用法—	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1413-1422, 1990.
14回	1990年03月	奥田 真珠美	紀南総合病院 小児科 (現・済生会有田病院 小児科)	3か月以下で発症した川崎病の7例 —その臨床像と予後—	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1425-1429, 1990.
14回	1990年03月	土屋 恵司	日本赤十字医療センター 小児科	川崎病急性期に冠動脈瘤内血栓形成を認め経静脈的血栓溶解療法を施行した1症例	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1431-1436, 1990.
14回	1990年03月	趙 佐和	関西医科大学 小児科	冠動脈バイパス術を施行した不全型川崎病の1例 —負荷心筋シンチグラフィの有用性を中心として—	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1437-1444, 1990.
14回	1990年03月	佐野 哲也	大阪大学医学部 小児科	A-Cバイパス術の吻合部狭窄に対してPTCAを試みた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1445-1448, 1990.
14回	1990年03月	川崎 富作	明治乳業ヘルスサイエンス研究所	<特別講演> 川崎病の生い立ちとその展望	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1451-1470, 1990.
15回	1991年03月	尾内 善四郎	京都府立医科大学附属 小児疾患研究施設 内科部門 教授	巻頭言	
15回	1991年03月	杉浦 康夫	滋賀医科大学 小児科	血小板と平均血小板容積による川崎病冠動脈病変の早期予知について	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1743-1747, 1991.
15回	1991年03月	池田 志麻子	関西医科大学 小児科	ガンマグロブリン大量静注療法にもかかわらず冠動脈瘤形成を認めた川崎病症例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1748-1755, 1991.
15回	1991年03月	新垣 義夫	国立循環器病センター 小児科	川崎病既往例の僧帽弁疾患	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1757-1761, 1991.
15回	1991年03月	児嶋 茂男	明和病院 小児科	川崎病冠動脈障害児のDipyridamole負荷Tl-201心筋SPECT像 —偽陽性例の検討を中心に—	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1763-1772, 1991.
15回	1991年03月	片岡 正	日本赤十字社医療センター 小児科	PTCR後に冠動脈バイパス手術を施行した川崎病巨大冠動脈瘤の1例	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1773-1777, 1991.
15回	1991年03月	吉岡 美咲	和歌山県立医科大学 小児科	反復する巨大冠動脈瘤血栓に対してウロキナーゼの経静脈性血栓溶解療法が有効であった1例	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1779-1785, 1991.
15回	1991年03月	大持 寛	京都府立医科大学附属 小児疾患研究施設 内科部門	巨大冠動脈瘤内血栓の消退過程を追えた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1787-1792, 1991.
15回	1991年03月	古庄 巻史	NTT九州病院 院長	川崎病病因に関する一考察	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1795-1800, 1991.
15回	1991年03月	三谷 義英	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	当科における巨大冠動脈瘤の予後	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1801-1806, 1991.
15回	1991年03月	鈴木 淳子	国立循環器病センター 小児科	川崎病の冠動脈障害におけるセグメント狭窄の分類とその臨床的意義	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1807-1810, 1991.
15回	1991年03月	福持 裕	京都府立医科大学附属 小児疾患研究施設 内科部門	冠状動脈瘤に拡大性病変をみた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1811-1817, 1991.
15回	1991年03月	鈴木 啓之	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病急性期患児末梢血単球のTNF- α , IL-1 β 産生能について —in vitroでの免疫グロブリン, γ -インターフェロン添加の影響—	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1819-1823, 1991.
15回	1991年03月	今西 二郎	京都府立医科大学 微生物学	<特別講演> 川崎病とサイトカイン	PROGRESS IN MEDICINE 11 (7) 1825-1843, 1991.
16回	1992年03月	内藤 泰顕	和歌山県立医科大学 胸部外科教授	巻頭言	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
16回	1992年03月	黒飛 俊二	大阪大学医学部 小児科	右冠動脈瘤閉塞による広範な下壁梗塞・重症僧帽弁閉鎖不全・肺高血圧を呈した川崎病の1例	
16回	1992年03月	久保田 佳伸	近畿大学医学部 心臓小児科	当院における川崎病後の心筋梗塞発症 6例の臨床像	
16回	1992年03月	三谷 義英	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	病初期からセグメント1, 5以外に冠動脈瘤を認めた川崎病症例の検討	
16回	1992年03月	木下 義久	国立循環器病センター 小児科	川崎病による冠動脈障害に対する心筋コントラストエコー	
16回	1992年03月	上村 茂	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病による巨大冠動脈瘤のMRI(magnetic resonance imaging)-T ₂ 強調画像について-	
16回	1992年03月	竹田 美文	京都大学医学部 微生物学 教授	<特別講演> 川崎病の病因に細菌毒素が関与している可能性	
16回	1992年03月	大持 寛	京都府立医科大学 小児疾患研究施設・内科部門	遠隔期川崎病における大動脈閉鎖不全	
16回	1992年03月	布施 茂登	国立循環器病センター 小児科	川崎病既往例における血漿プラスミン-α ₂ -プラスミンインヒビター複合体(PIC)およびトロンピン-アンチトロンピンⅢ複合体(TAT)	
16回	1992年03月	藤原 允子	京都女子大学 家政学部 食物学科 教授	川崎病剖検心における ANP・BNP の心室内組織発現の相違 -モノクローナル抗体を用いた免疫組織学的検討-	
16回	1992年03月	小谷 尚三, 鈴木 淳子	大阪大学, 国立循環器病センター 小児科	<最近の話題> 4th INTERNATIONAL KAWASAKI DISEASE SYMPOSIUM より	
17回	1993年03月	西岡 研哉	京都大学医学部 小児科	特集 川崎病 -第17回近畿川崎病研究会- 巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1319-1319, 1993.
17回	1993年03月	吉林 宗夫	国立循環器病センター 小児科	川崎病既往例における冠動脈壁および大動脈壁異常 -超高速CTを用いた検討-	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1320-1324, 1993.
17回	1993年03月	浅井 康一	京都大学医学部 小児科	巨大冠動脈瘤・心筋梗塞を併発し, 1年後に死亡した川崎病の1乳児例 -MRI, SPECT, PETによる検討-	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1325-1330, 1993.
17回	1993年03月	上村 茂	和歌山県立医科大学 小児科	Tagging Cine MRI法に基づく巨大冠動脈瘤内血流の評価 -血栓閉塞の検討-	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1331-1336, 1993.
17回	1993年03月	大持 寛	京都府立医科大学 小児疾患研究施設・内科部門	PETによる冠側副血行路を有する川崎病既往例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1337-1342, 1993.
17回	1993年03月	藤原 允子	京都女子大学 食物栄養学科	川崎病陳旧期冠動脈病変と成人の冠動脈硬化病変との比較 -免疫組織学的検討-	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1343-1345, 1993.
17回	1993年03月	新垣 義夫	国立循環器病センター 小児科	川崎病と大動脈弁閉鎖不全	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1347-1350, 1993.
17回	1993年03月	神谷 哲郎	国立循環器病センター 小児科	<特別講演> 川崎病における心臓血管合併症の現状と今後の問題点	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1353-1367, 1993.
17回	1993年03月	川崎 富作	日本川崎病研究センター, 明治乳業ヘルスサイエンス研究所	<特別講演> 川崎病研究の将来 -川崎病研究財団の設立をめざして-	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1369-1377, 1993.
17回	1993年03月	齋部 友良	日本赤十字社医療センター 小児科	カルシウム拮抗剤により歯肉増殖を来した川崎病の一例	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1378-1381, 1993.
17回	1993年03月	日下 高志	堺市医師会 校医会	川崎病既往児の長期予後に対するリスク -特に高脂血症についての意識調査-	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1382-1386, 1993.
17回	1993年03月	橋田 哲夫	明石市立市民病院 小児科	川崎病のγグロブリン療法によるサイトカインの変化 -IL-6, sIL-2R, IFN-γおよびTNF-αの測定-	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1387-1390, 1993.
17回	1993年03月	富田 安彦	神戸市立中央市民病院 小児科	川崎病のガンマグロブリン1回大量治療の経験 -投与量・投与方法はいかにして決定すべきか?-	PROGRESS IN MEDICINE 10 (7) 1451-1470, 1990.
17回	1993年03月	阿部 淳	国立小児病院 小児医療研究センター	<解説講演> スーパー抗原と川崎病	PROGRESS IN MEDICINE 13 (7) 1399-1407, 1993.
18回	1994年03月	児嶋 茂男	明和病院 小児科 主任医長	巻頭言	
18回	1994年03月	周 定洪	中国江西省児童醫院 中医科	造影上“消退”し, 心エコー図上“拡大残存”所見の見られた部位のその後の経過	

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
18回	1994年03月	笠松 美恵	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病初期のジビリダモール使用が冠動脈瘤形成に及ぼす影響	
18回	1994年03月	竹内 真	大阪大学 小児科	川崎病患児における心室遅延電位の臨床的検討 一周波数解析とその臨床的意義	
18回	1994年03月	周藤 文明	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	追加療法として γ -グロブリン2.0g/kg/dayが有効であった1例	
18回	1994年03月	吉村 健	関西医科大学 小児科	t-PA(組織プラスミノゲンアクチベータ)を用い経静脈的血栓溶解療法を施行した川崎病による下壁梗塞の1例	
18回	1994年03月	鈴木 淳子	国立循環器病センター	心移植の適応と判断された川崎病心血管障害の1例	
18回	1994年03月	児島 茂男	明和病院 小児科	【成人期に入った川崎病の管理をどうするか ー内科への橋渡し?ー】 [小児科サイドより] 18歳以上になった川崎病既往児のフォロー状況	
18回	1994年03月	武知 哲久	兵庫県立尼崎病院心臓センター 小児科	【成人期に入った川崎病の管理をどうするか ー内科への橋渡し?ー】 [小児科サイドより] 18歳以上になった川崎病既往者現状 ー血管造影既往者からの検討ー	
18回	1994年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 心臓小児科 講師	【成人期に入った川崎病の管理をどうするか ー内科への橋渡し?ー】 [小児科サイドより] 成人期(18歳以上)川崎病症例の外來管理の現況と問題点	
18回	1994年03月	清沢 伸幸	京都第二赤十字病院 小児科	【成人期に入った川崎病の管理をどうするか ー内科への橋渡し?ー】 [小児科サイドより] 京都における川崎病既往児の経過観察状況	
18回	1994年03月	鈴木 淳子	国立循環器病センター 小児科	【成人期に入った川崎病の管理をどうするか ー内科への橋渡し?ー】 [小児科サイドより] 18歳以上の川崎病既往者の経過観察状況	
18回	1994年03月	齋部 友良	日赤医療センター 小児科	【成人期に入った川崎病の管理をどうするか ー内科への橋渡し?ー】 [小児科サイドより] 18歳以上の川崎病症例の受診状況	
18回	1994年03月	藤原 兎子	京都女子大学 家政学部 食物栄養学科教授	【成人期に入った川崎病の管理をどうするか ー内科への橋渡し?ー】 [内科サイドより] 成人期に入った川崎病の諸問題	
18回	1994年03月	馬殿 正人	宝塚病院 内科	[指定発言] MCLSが原因と考えられる、若年急性心筋梗塞の2症例	
18回	1994年03月	加藤 裕久	久留米大学 小児科	<特別講演> 川崎病心血管障害の長期的問題 ーPediatric through adultー	
19回	1995年03月	山本 隆	近畿大学医学部 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1121-1121, 1995.
19回	1995年03月	尾内 善四郎	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	産乳期治療血管炎における早発動脈硬化発生機序	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1122-1124, 1995.
19回	1995年03月	吉林 宗夫	国立循環器病センター 小児科	川崎病後の冠動脈病変検出における超高速 CTの有用性	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1125-1128, 1995.
19回	1995年03月	野崎 浩二	三菱京都病院 小児科	Segmented k-space turbo FLASH法MRIによる川崎病冠動脈病変検出の試み	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1129-1133, 1995.
19回	1995年03月	上村 茂	和歌山県立医科大学 小児科	Segmented k-space turbo FLASH法に基づく息止め法で末梢性右冠動脈瘤の検出	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1135-1139, 1995.
19回	1995年03月	古川 漸	山口大学医学部 小児科	<特別講演> 川崎病の免疫学的背景	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1141-1149, 1995.
19回	1995年03月	清沢 伸幸	京都第二赤十字病院 小児科	近畿地区における川崎病 ー全国調査からみてー	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1151-1156, 1995.
19回	1995年03月	西岡 研哉	近畿川崎病研究会 アンケート調査委員会	川崎病に対するガンマグロブリン療法の近畿地区での現況について ー近畿地区のアンケート調査よりー	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1157-1159, 1995.
19回	1995年03月	三村 敏雄	川崎病友の会	「こどものための川崎病説明会」におけるアンケート結果について	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1161-1165, 1995.
19回	1995年03月	周藤 文明	京都府立医科大学附属 小児疾患研究施設 内科部門	大量 γ -グロブリン療法の予後判定に関する問題点	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1166-1169, 1995.
19回	1995年03月	飯島 みどり	神戸市立中央市民病院 小児科	川崎病におけるガンマグロブリン超大量療法の問題点	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1170-1177, 1995.
19回	1995年03月	古田 俊哉	東京都立清瀬小児病院 循環器科	川崎病巨大冠動脈瘤内血栓に対し組織プラスミノゲンアクチベーター経静脈的投与が一度目は有効であったが、二度目は無効であった1症例	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1178-1182, 1995.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
19回	1995年03月	金崎 光治	近畿大学医学部 小児科	急性腎不全と巨大冠動脈瘤を認め、川崎病と診断した1症例	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1183-1186, 1995.
19回	1995年03月	藪部 友良	日本赤十字社医療センター 小児科	rt-PAの経静脈的血栓溶解療法に不応で急性心筋梗塞を起こした川崎病 巨大冠動脈瘤の1例	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1187-1190, 1995.
19回	1995年03月	内山 竹彦	東京女子医科大学 微生物学免疫学	<特別講演> スーパー抗原と疾患 —川崎病との関連性—	PROGRESS IN MEDICINE 15 (7) 1191-1201, 1995.
20回	1996年03月	古庄 巻史	京都大学医学部 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1753-1753, 1996.
20回	1996年03月	片山 博視	大阪医科大学 小児科	川崎病罹患児の冠動脈血流 —ドプラフローワイヤを用いて—	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1754-1760, 1996.
20回	1996年03月	福田 毅	近畿大学医学部心臓 小児科	川崎病患者におけるdipyridamolc負荷99mTc-tetrofosmin心筋シンチグラ フィーの使用経験	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1762-1766, 1996.
20回	1996年03月	上村 茂	和歌山県立医科大学 小児科	息止め法を用いないsegment K-space turbo FLASH法に基づく乳幼児の 冠動脈病変の抽出	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1762-1766, 1996.
20回	1996年03月	山口 英里	耳原総合病院 小児科	当院における川崎病既往児の臨床経過 —10年以上経過した72例について—	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1772-1775, 1996.
20回	1996年03月	米村 俊哉	京都大学医学部 小児科	当科で経験された川崎病例の予後の検討 —15年間のまとめ—	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1776-1778, 1996.
20回	1996年03月	篠原 徹	近畿大学医学部心臓 小児科	川崎病心血管病変の予後 —再造影からの検討—	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1779-1784, 1996.
20回	1996年03月	直江 史郎	東邦大学医学部大橋病院 病理学講座	<特別講演>川崎病の血管病変を側面から考える —小児血管炎の病理学的観察から—	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1785-1789, 1996.
20回	1996年03月	藪部 友良	日本赤十字社医療センター 小児科	発症後14年で狭窄部位に新たな冠動脈瘤形成を認めた川崎病冠動脈 後遺症の1例	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1790-1793, 1996.
20回	1996年03月	吉林 宗夫	京都大学医学部 小児科	造影上正常化した冠動脈、および正常な冠動脈の予後	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1794-1796, 1996.
20回	1996年03月	鈴木 淳子	東京通信病院 小児科	血管内エコーで見た遠隔期川崎病冠動脈病変	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1797-1800, 1996.
20回	1996年03月	飯島 みどり	神戸市立中央市民病院 小児科	川崎病急性期冠動脈瘤の大きさと発症年齢による予後の検討	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1801-1806, 1996.
20回	1996年03月	尾内 善四郎	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科	心臓移植の適応と考えられた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1807-1811, 1996.
20回	1996年03月	清沢 伸幸	京都第二赤十字病院 小児科	近畿地区の川崎病発生状況とガンマグロブリン療法について —川崎病全国調査より—	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1812-1816, 1996.
20回	1996年03月	荻野 廣太郎	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	川崎病におけるガンマグロブリン療法について —近畿地区アンケート調査結果から—	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1817-1825, 1996.
20回	1996年03月	藪部 友良	日本赤十字社医療センター 小児科	<シンポジウム> 川崎病の謎を解く—その確かな証拠を求めて— —臨床面より	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1826-1828, 1996.
20回	1996年03月	上村 茂	和歌山県立医科大学 小児科	<シンポジウム> 川崎病の謎を解く—その確かな証拠を求めて— —検査面より	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1829-1835, 1996.
20回	1996年03月	古川 漸	山口大学医学部 小児科	<シンポジウム> 川崎病の謎を解く—その確かな証拠を求めて— —免疫面より—川崎病におけるTリンパ球の免疫応答—	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1836-1840, 1996.
20回	1996年03月	直江 史郎	東邦大学医学部大橋病院 病理学講座	<シンポジウム> 川崎病の謎を解く—その確かな証拠を求めて— —病理面より	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1841-1842, 1996.
20回	1996年03月	清沢 伸幸	京都第二赤十字病院 小児科	<シンポジウム> 川崎病の謎を解く—その確かな証拠を求めて— —疫学面より	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1843-1846, 1996.
20回	1996年03月	古庄 巻史 ほか	京都大学医学部 小児科	<シンポジウム> 川崎病の謎を解く—その確かな証拠を求めて— —総合討論	PROGRESS IN MEDICINE 16 (7) 1847-1850, 1996.
21回	1997年03月	清水 達雄	生駒総合病院 小児科	特集:川崎病 —第21回近畿川崎病研究会— 巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1723-1723, 1997.
21回	1997年03月	宮崎 文	日本赤十字社和歌山医療センター 小児科	股関節炎と巨大冠動脈瘤を合併した川崎病の女児例	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1724-1728, 1997.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
21回	1997年03月	澤田 博文	国立循環器病センター 小児科	川崎病による僧帽弁腱索断裂を来した2例	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1729-1734, 1997.
21回	1997年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 心臓小児科	最近発症した川崎病の心病変 —心病変合併例が増えているか?—	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1735-1737, 1997.
21回	1997年03月	稲毛 章郎	日本赤十字社医療センター 小児科	新生児期に発症した川崎病不全型の2症例	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1738-1743, 1997.
21回	1997年03月	鈴木 淳子	東京通信病院 小児科	川崎病冠動脈障害の遠隔期内膜肥厚の増殖因子の関連について	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1744-1748, 1997.
21回	1997年03月	上村 茂	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病冠動脈瘤の3次元MRI像 —Navigator echoを用いたretrospective respiratory gating 3DMR angiography—	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1749-1754, 1997.
21回	1997年03月	西村 実保	京都大学医学部 小児科	川崎病後心筋梗塞例における“Stunned Myocardium” —PETを用いた検討—	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1755-1760, 1997.
21回	1997年03月	岡川 浩人	滋賀医科大学 小児科学教室	川崎病急性期のQT時間について	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1761-1764, 1997.
21回	1997年03月	吉野 加津哉	帝京大学医学部 小児科	<特別講演> 川崎病モデルと考えられる実験的マウス血管炎について —その発生メカニズムと治療的試み—	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1765-1775, 1997.
21回	1997年03月	清沢 伸幸	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	近畿地区における川崎病ガンマグロブリン療法に関するアンケート調査 —冠動脈瘤例に対する患者対照研究・第一報：臨床像について—	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1776-1780, 1997.
21回	1997年03月	清沢 伸幸	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	近畿地区における川崎病ガンマグロブリン療法に関するアンケート調査 —冠動脈瘤例に対する患者対照研究・第二報：臨床検査成績について—	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1781-1786, 1997.
21回	1997年03月	荻野 廣太郎	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	近畿地区における川崎病ガンマグロブリン療法について —第3病日以内投与開始症例の検討—	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1787-1795, 1997.
21回	1997年03月	西岡 研哉	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	近畿地区の川崎病に対するガンマグロブリン療法の副作用について (第2報)	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1796-1802, 1997.
21回	1997年03月	玉井 浩	大阪医科大学 小児科	<特別講演> 川崎病とビタミンE	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1803-1810, 1997.
21回	1997年03月	片山 博視	大阪医科大学 小児科	<ワークショップ> ガンマグロブリン大量療法にもかかわらず動脈瘤を形成した川崎病の2例 —冠動脈病変はガンマグロブリン投与後早期に予測可能か?—	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1811-1819, 1997.
21回	1997年03月	周藤 文明	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	<ワークショップ> γ-グロブリン投与例におけるCoronary artery lesion (CAL) 出現の予測	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1820-1828, 1997.
21回	1997年03月	周藤 文明	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	<ワークショップ> γ-グロブリン大量投与例における血清IgG濃度の推移	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1829-1833, 1997.
21回	1997年03月	富田 安彦	神戸市立中央市民病院 小児科	<ワークショップ> ガンマグロブリン一回超大量療法における追加投与の現状	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1834-1842, 1997.
21回	1997年03月	津田 悦子	国立循環器病センター 小児科	<ワークショップ> ガンマグロブリン製剤不応症例の川崎病冠動脈障害について	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1843-1849, 1997.
21回	1997年03月	中野 正大	岐阜県立多治見病院 小児科	<ワークショップ> 選択的ウリナスタテン・免疫グロブリン併用療法の川崎病冠動脈合併症予防効果について	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1850-1858, 1997.
21回	1997年03月	富田 安彦 ほか	神戸市立中央市民病院 小児科 ほか	<討論>	
21回	1997年03月	富田 安彦 ほか	神戸市立中央市民病院 小児科 ほか	<総合討論> 選択的ウリナスタテン・免疫グロブリン併用療法の川崎病冠動脈合併症予防効果について	PROGRESS IN MEDICINE 17 (7) 1859-1860, 1997.
21回	1997年03月	神谷 哲郎	国立循環器病センター 小児科	<川崎病原著論文発表30年企画> 川崎病と川崎先生と私と30年	
21回	1997年03月	川崎 富作	日本赤十字社中央病院 小児科	<川崎病原著論文発表30年企画> 指趾の特異的落屑を伴う小児の急性熱性皮膚粘膜淋巴结候群	アレルギー 16(3) : 178-222, 1967
21回	1997年03月	川崎 富作	日本赤十字社中央病院 小児科	<川崎病原著論文発表30年企画> 非猩紅熱性落屑症候群について	千葉医学会雑誌 38(3/4) : 279-280, 1962
22回	1998年03月	富田 安彦	神戸市立中央市民病院 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1557-1557, 1998.
22回	1998年03月	民田 永理	京都市立病院 小児科	汎血球減少を来した川崎病の一例	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1558-1562, 1998.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
22回	1998年03月	稲毛 章郎	日本赤十字社医療センター 小児科	急性喉頭蓋炎にて発症した川崎病の2例	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1565-1570, 1998.
22回	1998年03月	飯田 みどり	神戸市立中央市民病院 小児科	冠動脈病変以外の合併症が主要症状であった重症川崎病の2例	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1571-1576, 1998.
22回	1998年03月	岸本 千晴	富山医科薬科大学医学部 第二内科	ガンマグロブリンの心筋炎に対する効果	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1577-1581, 1998.
22回	1998年03月	片山 博視	大阪医科大学 小児科	川崎病におけるガンマグロブリン投与後早期の冠動脈病変予測スコアの検討	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1582-1587, 1998.
22回	1998年03月	村田 卓士	大阪医科大学 小児科	川崎病の治療経過中における各種接着分子の変動	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1588-1593, 1998.
22回	1998年03月	鈴木 淳子	東京通信病院 小児科	川崎病遠隔期の冠動脈障害リモデリングの免疫組織化学的検討 第二報	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1594-1599, 1998.
22回	1998年03月	福田 毅	近畿大学医学部 心臓小児科	川崎病患者におけるTreadmill運動負荷: Duke Treadmill Scoreを用いた定量的評価	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1600-1603, 1998.
22回	1998年03月	寺口 正之	関西医科大学 小児科	201TI心筋シンテグラフィーからみた川崎病による巨大冠動脈瘤例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1604-1608, 1998.
22回	1998年03月	吉林 宗夫	京都大学医学部 小児科	川崎病冠動脈障害における心筋酸素代謝: ポジトロン CT(PET)を用いた検討	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1609-1612, 1998.
22回	1998年03月	塚野 真也	国立循環器病センター 小児科	川崎病による冠動脈瘤の電子ビーム CT所見の推移	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1613-1616, 1998.
22回	1998年03月	原田 研介	日本大学医学部 小児科	<特別講演> 川崎病と厚生省班会議 一班会議における川崎病研究の歴史一	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1617-1625, 1998.
22回	1998年03月	荻野 廣太郎	関西医科大学附属 洛西ニュータウン病院 小児科	関西医科大学における18年間の川崎病治療と冠動脈障害について	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1626-1631, 1998.
22回	1998年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 心臓小児科	患児を対象とした「川崎病勉強会」の試み	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1632-1634, 1998.
22回	1998年03月	清沢 伸幸	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	近畿地区アンケート調査から第3報: 診断が遅れた症例について	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1635-1639, 1998.
22回	1998年03月	賀陽 麻子	市立豊中病院 小児科	ガンマグロブリン大量療法に不応でウリナスタチンを試みた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1640-1642, 1998.
22回	1998年03月	津田 悦子	国立循環器病センター 小児科	川崎病による石灰化病変を伴う重症局所狭窄に対してロータプレーターが有効であった1例	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1643-1648, 1998.
22回	1998年03月	周藤 文明	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	急性期川崎病IVGGにおける追加療法 — γ -グロブリン大量療法施行例に対する追加療法プロトコルの適応とその結果—	PROGRESS IN MEDICINE 18 (7) 1649-1651, 1998.
23回	1999年03月	奥野 昌彦	長浜赤十字病院 小児科	川崎病 一第23回近畿川崎病研究会:巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1613-1614, 1999.
23回	1999年03月	江原 英治	大阪市立総合医療センター 小児循環器内科	結節性多発動脈炎の1幼児例 一臨床像と血管造影所見一	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1615-1620, 1999.
23回	1999年03月	大曾根 真也	国立舞鶴病院 小児科	右肩痛を主訴に来院した、16歳の非定型的川崎病が疑われた1例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1621-1625, 1999.
23回	1999年03月	津田 悦子	国立循環器病センター 小児科	川崎病による冠動脈狭窄性病変合併妊娠の1例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1626-1630, 1999.
23回	1999年03月	江川 智子	滋賀医科大学 小児科	3年続きで同季節に発症した川崎病の1症例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1631-1634, 1999.
23回	1999年03月	斎藤 潤	神戸市立中央市民病院 小児科	川崎病の発症年齢と臨床、検査所見の差異の検討	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1635-1640, 1999.
23回	1999年03月	山元 康敏	京都府立医科大学附属 小児疾患研究施設 内科部門	川崎病冠動脈瘤の退縮正常化後における狭窄出現の有無に関する検討	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1641-1646, 1999.
23回	1999年03月	荻野 廣太郎	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	免疫グロブリン療法を行った乳児期発症川崎病患者 1,008例における冠動脈障害発生頻度について	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1647-1652, 1999.
23回	1999年03月	吉林 宗夫	京都大学医学部 小児科	PTCRAにより重症局所狭窄の解除と心筋虚血の消失が得られた川崎病冠動脈障害の1例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1653-1657, 1999.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
23回	1999年03月	福田 毅	近畿大学医学部 心臓小児科	川崎病患者におけるdipyridamolc負荷99mTc-tetrofosmin心筋シンテグラフィのfollow-up所見	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1658-1663, 1999.
23回	1999年03月	鈴木 淳子	東京逓信病院 小児科	川崎病冠動脈障害の血管リモデリング: 回復期早期から遠隔期までの免疫組織学的検討	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1664-1669, 1999.
23回	1999年03月	高松 奈美	富山医科薬科大学医学部 人間科学	心筋炎での免疫グロブリン療法のサイトカイン抑制作用	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1670-1673, 1999.
23回	1999年03月	菅 純二	尼崎医療生協病院 小児科	<シンポジウム> ウリナスタテン療法の経験-功罪も含めて ウリナスタテン療法にて鎮静化できたガンマグロブリン無効の川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1674-1677, 1999.
23回	1999年03月	中野 正大	岐阜県立多治見病院 小児科	<シンポジウム> ウリナスタテン療法の経験-功罪も含めて ウリナスタテン投与中に発疹、発熱などを呈した川崎病の2症例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1678-1681, 1999.
23回	1999年03月	黒飛 俊二	市立豊中病院 小児科	<シンポジウム> ウリナスタテン療法の経験-功罪も含めて 当院での川崎病に対するウリナスタテン療法の経験	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1682-1686, 1999.
23回	1999年03月	大塚 拓治	明石市立市民病院 小児科	<シンポジウム> ウリナスタテン療法の経験-功罪も含めて ウリナスタテン併用療法を試みた川崎病の5例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1687-1691, 1999.
23回	1999年03月	後藤 元宏	京都大学医学部 小児科	<シンポジウム> ウリナスタテン療法の経験-功罪も含めて γグロブリン超大量静注とウリナスタテン投与にもかかわらず巨大冠動脈瘤を来し、PTCRにより心筋虚血の消失が得られた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1692-1696, 1999.
23回	1999年03月	吉田 茂	神鋼加古川病院 小児科	<シンポジウム> ウリナスタテン療法の経験-功罪も含めて 川崎病におけるウリナスタテン療法の有効性と副作用について	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1697-1703, 1999.
23回	1999年03月	稲毛 章郎	日本赤十字社医療センター 小児科	<シンポジウム> ウリナスタテン療法の経験-功罪も含めて ウリナスタテン療法が不応であった川崎病3症例	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1704-1710, 1999.
23回	1999年03月	中野 正大 ほか	岐阜県立多治見病院 小児科 ほか	<シンポジウム総合討論> ウリナスタテン療法の経験-功罪も含めて-	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1711-1713, 1999.
23回	1999年03月	高橋 啓	東邦大学医学部附属大橋病院 病理学講座	<最近の話題> 6th International Kawasaki Disease Symposiumより: 基礎の立場から	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1714-1718, 1999.
23回	1999年03月	鈴木 淳子	東京逓信病院 小児科	<最近の話題> 6th International Kawasaki Disease Symposiumより: 臨床の立場から	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1719-1722, 1999.
23回	1999年03月	古庄 巻史	市立岸和田市民病院 院長	<特別講演1> 川崎病原因究明への世界の動向	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1723-1730, 1999.
23回	1999年03月	浅井 満	川崎病の子供をもつ親の会代表	<特別講演2> 親からみた川崎病の問題点-「親の会」17年の活動を通して	PROGRESS IN MEDICINE 19 (7) 1731-1736, 1999.
24回	2000年03月	鈴木 淳子	東京逓信病院 小児科	巻頭言 -2000年度,第24回近畿川崎病研究会を終えて-	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1353-1354, 2000.
24回	2000年03月	吉村 健	関西医科大学附属香里病院 小児科	鎌障害を主訴として来院した両側巨大冠動脈瘤, 心筋梗塞の1例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1355-1359, 2000.
24回	2000年03月	安 炳文	京都市立病院 小児科	川崎病の急性期に間質性肺炎を認めた1例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1360-1362, 2000.
24回	2000年03月	岩朝 徹	京都大学医学部附属病院 小児科	最近経験したガンマグロブリン大量療法不応の川崎病2乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1363-1365, 2000.
24回	2000年03月	三木 和典	市立豊中病院 小児科	超大量ガンマグロブリン(1g/kg/日×3日)療法が奏効せず,心筋炎による心不全を来し,ステロイドパルス療法を施行した川崎病の1男児例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1366-1370, 2000.
24回	2000年03月	川井 正信	市立吹田市民病院 小児科	ガンマグロブリン投与にもかかわらず脳炎・巨大冠動脈瘤を来した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1371-1375, 2000.
24回	2000年03月	嶋田 恵子	市立豊中病院 小児科	超大量γグロブリン投与後心不全を呈した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1376-1379, 2000.
24回	2000年03月	西島 節子	日野記念病院 小児科	突然死により初めて診断された川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1380-1383, 2000.
24回	2000年03月	須田 憲治	天理よろづ相談所病院 小児科	脳梗塞を合併し,繰り返す冠動脈内血栓に対し経皮的冠動脈内血栓溶解療法を施行した川崎病の1乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1384-1388, 2000.
24回	2000年03月	蘆部 友良	日本赤十字社医療センター 小児科	低侵襲冠動脈バイパスグラフト (mid CABG)手術を受けた巨大冠動脈瘤の1例	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1389-1392, 2000.
24回	2000年03月	篠原 徹	近畿大学医学部心臓 小児科	後遺症をもたない川崎病罹病児の追跡をどうするか -父親が医師である罹病児の追跡状況からの検討-	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1393-1396, 2000.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
24回	2000年03月	福田 毅	近畿大学医学部心臓 小児科	川崎病患者においてdipyridamole負荷心筋シンテグラフィーを用いた長期予後	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1397-1400, 2000.
24回	2000年03月	遠藤 彦聖	国立循環器病センター 小児科	川崎病心筋梗塞後の電子ビーム CT(EBT)所見の変化についての検討	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1401-1405, 2000.
24回	2000年03月	清沢 伸幸	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	近畿地区における過去10年間のガンマグロブリン療法の動向	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1406-1410, 2000.
24回	2000年03月	畑笠 泰子	関西医科大学附属 洛西ニュータウン病院 小児科	川崎病急性期の治療と入院期間・冠動脈障害の検討	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1411-1414, 2000.
24回	2000年03月	中野 正大	岐阜県立多治見病院 小児科	ウリナスタチン療法の川崎病冠動脈病変予防効果について	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1415-1422, 2000.
24回	2000年03月	岸本 千晴	京都大学大学院医学研究科 循環器病学	劇症型心筋炎と急性拡張型心筋症患者に対する免疫グロブリン療法	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1423-1425, 2000.
24回	2000年03月	荻野 廣太郎	関西医科大学附属 洛西ニュータウン病院 小児科	当院における初回免疫グロブリン治療不応例に対する追加治療の検討	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1426-1429, 2000.
24回	2000年03月	野中 善治	東京慈恵会医科大学 小児科	ガンマグロブリン不応の川崎病例には超大量療法のみで対応すべきなのか? ープレドニゾン併用療法の経験からみた考察ー	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1430-1434, 2000.
24回	2000年03月	斎藤 潤	神戸市立中央市民病院 小児科	初回ガンマグロブリン不応例について	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1435-1439, 2000.
24回	2000年03月	小澤 誠一郎	京都府立医科大学附属 小児疾患研究施設 内科部門	γ-グロブリン療法不応例への追加投与方法の検討	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1440-1443, 2000.
24回	2000年03月	世古 義規	東京大学医学部 循環器内科	<特別講演> 高安静脈炎における細胞性免疫機序-川崎病との類似性-	PROGRESS IN MEDICINE 20 (7) 1444-1449, 2000.
24回	2000年03月	北村 惣一郎	国立循環器病センター	<特別講演> 川崎病手術が教えてくれたこと	
25回	2001年03月	佐野 哲也	大阪厚生年金病院 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1597-1597, 2001.
25回	2001年03月	津田 悦子	国立循環器病センター 小児科	川崎病遠隔期にみられた新生瘤における血管内エコー所見	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1598-1602, 2001.
25回	2001年03月	福田 毅	近畿大学医学部心臓 小児科	冠動脈バイパス手術を施行した川崎病既往の dipyridamole負荷 LevovistTMによるコントラストエコー所見の1例	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1603-1607, 2001.
25回	2001年03月	伊藤 陽里	京都第二赤十字病院 小児科	川崎病急性期におけるガンマグロブリンの投与開始病日と心臓後遺症の 関係について	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1608-1612, 2001.
25回	2001年03月	佐藤 克彦	東京通信病院 放射線科	Dynamic Coronary MR Angiographyの冠動脈描出に対する検討	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1613-1616, 2001.
25回	2001年03月	岸本 千晴	京都大学大学院医学研究科 循環器病学	免疫グロブリンは、樹状細胞を抑制することにより、ラット自己免疫性巨細 胞型心筋炎を改善する	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1617-1620, 2001.
25回	2001年03月	岩城 大	箕面市立病院 小児科	尿中β2MG高値を認めたγ-グロブリン不応の川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1621-1624, 2001.
25回	2001年03月	窪田 恵子	市立伊丹病院 小児科	当科で経験したガンマグロブリン大量療法不応例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1625-1629, 2001.
25回	2001年03月	武内 崇	和歌山県立医科大学 小児科	ガンマグロブリン投与により速やかに解熱したが、冠動脈障害を生じた2例	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1630-1635, 2001.
25回	2001年03月	森 保彦	大阪医科大学 小児科	発症5年後に瘤の再拡大を認めた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1636-1639, 2001.
25回	2001年03月	黒飛 俊二	市立豊中病院 小児科	冠動脈障害なしと診断された川崎病児の冠動脈径についての検討 ー冠動脈径正常値と比較してー	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1640-1642, 2001.
25回	2001年03月	芳本 潤	神戸市立中央市民病院 小児科	川崎病ガンマグロブリン治療のプロトコール作成に向けて ーわれわれの治療法とその問題点についてー	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1643-1647, 2001.
25回	2001年03月	吉田 茂	神鋼加古川病院 小児科	川崎病の新しい治療法 ーウリナスタチン療法の当科での成績ー	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1648-1653, 2001.
25回	2001年03月	篠原 徹	管理に関する小委員会	経過観察終了が可能な川崎病既往児に対する管理への提言 (案) ー管理に関する小委員会報告ー	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1654-1657, 2001.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
25回	2001年03月	澤 芳樹	大阪大学大学院 機能制御外科学	<特別講演> 重症心不全に対する遺伝子治療	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1658-1662, 2001.
25回	2001年03月	鈴木 啓之	和歌山県立医科大学 小児科	<シンポジウム:川崎病解明への新しい切り口> 川崎病血管炎発症における溶連菌外毒素 (SPE-C) と抗血管平滑筋自己抗体の関与について	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1663-1668, 2001.
25回	2001年03月	坂田 耕一	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	<シンポジウム:川崎病解明への新しい切り口> 川崎病急性期血管炎におけるhHGFとMMP-9の関与	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1669-1675, 2001.
25回	2001年03月	鈴木 淳子	東京通信病院 小児科	<シンポジウム:川崎病解明への新しい切り口> 川崎病血管炎の免疫組織化学的検討	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1676-1678, 2001.
25回	2001年03月	三谷 義英	三重大学医学部 小児科	<シンポジウム:川崎病解明への新しい切り口> 川崎病に伴う冠動脈病変の血管生物学 -遠隔期内皮機能を中心に-	PROGRESS IN MEDICINE 21 (7) 1679-1684, 2001.
26回	2002年03月	松村 正彦	天理よろづ相談所病院 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1577-1577, 2002.
26回	2002年03月	北岡 太一	箕面市立病院 小児科	急激な肝機能異常を認めた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1578-1580, 2002.
26回	2002年03月	田中 智子	関西医科大学附属病院 小児科	マイコプラズマ肺炎を合併した川崎病の1歳女児例	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1581-1584, 2002.
26回	2002年03月	岡本 暢彦	滋賀医科大学 小児科	巨大な頸部リンパ節炎で発症し、若年性関節リウマチ様症状を伴った川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1585-1588, 2002.
26回	2002年03月	吉田 茂	神鋼加古川病院 小児科	急性糸球体腎炎を合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1589-1593, 2002.
26回	2002年03月	渋谷 昌一	紀南総合病院 小児科	川崎病頻回発症例4例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1594-1598, 2002.
26回	2002年03月	福田 毅	近畿大学医学部 心臓小児科	巨大冠動脈瘤から冠動脈狭窄を経て冠動脈閉塞に進展した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1601-1605, 2002.
26回	2002年03月	石原 温子	京都大学医学部付属病院 小児科 (現・日本赤十字社 和歌山医療センター)	川崎病を疑うも抗生物質に反応し軽快後冠動脈瘤の存在に気付かれた1例	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1606-1609, 2002.
26回	2002年03月	南 孝臣	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病後巨大冠動脈瘤に対するワーファリン療法中に腹腔内出血を来した1例	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1610-1614, 2002.
26回	2002年03月	清水 次子	京都市立病院 小児科	急性期に冠動脈病変を合併しなかった川崎病既往児 90例の長期経過について	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1615-1618, 2002.
26回	2002年03月	稲葉 利佳子	東京通信病院 小児科	成人期川崎病冠動脈障害のスクリーニングと経過観察 -MRC(Magnetic-Resonance-Coronary-Angiography)の有用性について-	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1619-1623, 2002.
26回	2002年03月	鈴木 淳子	東京通信病院 小児科	川崎病既往正常冠動脈の免疫組織化学的検討	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1624-1628, 2002.
26回	2002年03月	塩路 圭介	京都大学大学院医学研究科 循環病態学	免疫グロブリン療法を施行し急速に改善した劇症型心筋炎の1例 -抗酸化因子チオレドキシン(TRX)の解析の検討-	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1631-1635, 2002.
26回	2002年03月	浜名 圭子	市立豊中病院 小児科 (現・芦屋病院 小児科)	急性期川崎病における Atrial natriuretic peptide (ANP), Brain natriuretic peptide (BNP) の検討	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1636-1639, 2002.
26回	2002年03月	伊藤 陽里	京都第二赤十字病院 小児科	川崎病急性期におけるアスピリン治療の有効性について	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1640-1643, 2002.
26回	2002年03月	黒飛 俊二	市立豊中病院 小児科	当院で施行したガンマグロブリン超大量療法 (1g/kg/day)について	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1644-1647, 2002.
26回	2002年03月	瀬戸 嗣郎	市立岸和田市民病院 小児科	研修指定病院におけるクリニカルパス普及度と川崎病パス	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1648-1653, 2002.
26回	2002年03月	上村 茂	和歌山県立医科大学 小児科	<最近の話題> 7th International Kawasaki Disease Symposium より	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1654-1656, 2002.
26回	2002年03月	津田 悦子	国立循環器病センター 小児科	<最近の話題> 7th International Kawasaki Disease Symposium より	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1657-1657, 2002.
26回	2002年03月	藤田 正俊	京都大学 医療技術短期大学部	<特別講演> 小児狭心症患者へのバリン運動療法	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1658-1665, 2002.
26回	2002年03月	石井 正浩	久留米大学医学部 小児科	<シンポジウム:川崎病既往者の長期予後 -そのエビデンスは-> 川崎病児はいつまで経過観察が必要か? -冠動脈血管機能および構造からのアプローチ-	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1666-1670, 2002.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
26回	2002年03月	津田 悦子	国立循環器病センター 小児科	<シンポジウム:川崎病既往者の長期予後 ーそのエビデンスはー> 川崎病による冠動脈炎は予後に影響するのか?ー冠動脈瘤のない患者 の20年の経過観察からー	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1671-1675, 2002.
26回	2002年03月	高橋 啓	東邦大学医学部付属大橋病院 病理学講座	<シンポジウム:川崎病既往者の長期予後 ーそのエビデンスはー> 瘤を確認できなかった冠状動脈の狭窄性病変への進展の可能性について	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1676-1678, 2002.
26回	2002年03月	中村 好一	自治医科大学 公衆衛生学教室	<シンポジウム:川崎病既往者の長期予後 ーそのエビデンスはー> 川崎病既往者の長期予後:疫学的観察から	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1679-1681, 2002.
26回	2002年03月	三谷 義英	三重大学医学部 小児科	<シンポジウム:川崎病既往者の長期予後 ーそのエビデンスはー> 川崎病後遠隔期の内皮機能障害と遠隔期管理	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1682-1684, 2002.
26回	2002年03月	篠原 徹	近畿川崎病研究会 「管理に関する小委員会」	<シンポジウム:川崎病既往者の長期予後 ーそのエビデンスはー> 経過観察を終了することが可能な川崎病既往児に対する管理への提言 (改定案)と2003年の第27回研究会のシンポジウムに向けて	PROGRESS IN MEDICINE 22 (7) 1685-1686, 2002.
27回	2003年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1713-1713, 2003.
27回	2003年03月	藤井 喜充	関西医科大学 小児科	多彩な肝胆道系の病変を来した川崎病の1症例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1714-1717, 2003.
27回	2003年03月	坂東 由香	済生会奈良病院 小児科	麻疹性イレウスを合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1718-1720, 2003.
27回	2003年03月	上田 達哉	野洲病院 小児科	川崎病発症より1ヵ月後に再発を認めた1女児例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1721-1724, 2003.
27回	2003年03月	清原 由起	箕面市立病院 小児科	γグロブリンおよびアスピリン治療によると思われる顔面腫脹と全身紅斑を 来した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1725-1727, 2003.
27回	2003年03月	神田 健志	神戸市立中央市民病院 小児科	発熱と頸部リンパ節腫脹の2症状のみでγグロブリン一括大量療法を受け た2歳の男児とその画像所見および その他の診断に苦慮した症例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1728-1732, 2003.
27回	2003年03月	中長 摩利子	市立吹田市民病院 小児科	冠動脈瘤を認めた不明熱の10歳男児の1例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1733-1736, 2003.
27回	2003年03月	南 孝臣	和歌山県立医科大学 小児科	急性期CRP低値で経過し、冠動脈瘤を形成した川崎病男児例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1737-1740, 2003.
27回	2003年03月	水戸守 寿洋	大津赤十字病院 小児科	川崎病発症5年後の冠動脈造影で狭窄性病変を認めた小冠動脈瘤の1例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1741-1742, 2003.
27回	2003年03月	津田 悦子	国立循環器病センター 小児科	突然死した川崎病冠動脈障害による虚血性心筋症の1例	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1743-1748, 2003.
27回	2003年03月	川上 展弘	市立豊中病院 小児科	当院における4ヵ月以下の川崎病患児の臨床的検討	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1749-1751, 2003.
27回	2003年03月	清沢 伸幸	近畿川崎病研究会 アンケート調査小委員会	川崎病不全型例の再調査について	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1752-1756, 2003.
27回	2003年03月	松尾 憲典	済生会京都府病院 小児科	プロテインC活性値による川崎病血管障害の検討	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1757-1760, 2003.
27回	2003年03月	二又 正臣	京都大学大学院医学研究科 循環器病態学	免疫グロブリンはFc部分を介して実験的動脈炎・硬化病変を改善する	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1761-1767, 2003.
27回	2003年03月	池田 義	京都大学大学院医学研究科 器官外科学講座 心臓血管外科	微小冠動脈に対する新しい血行再建法 “Bio-CABG”の実験的検討	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1768-1772, 2003.
27回	2003年03月	稲葉 利佳子	東京逓信病院 小児科	MR Coronary Angiographyにおける川崎病の局所性狭窄とセグメント狭 窄(再疎通血管)の描出	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1773-1777, 2003.
27回	2003年03月	安川 久美	日本赤十字社医療センター 小児科	新たな冠動脈瘤を形成した2例の経過 ーMRCAの有用性についてー	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1778-1783, 2003.
27回	2003年03月	武村 濃	東京逓信病院 放射線科	川崎病冠動脈障害に対する非造影 3D MR Coronary Angiographyの有 用性 呼吸同期併用法と呼吸停止下法との比較	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1784-1788, 2003.
27回	2003年03月	吉田 茂	神鋼加古川病院 小児科	クリニカルパスのバリアンス解析を通してみた当科の川崎病治療成績	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1789-1793, 2003.
27回	2003年03月	野中 善治	昭和大学横浜市北部病院 小児科	治療前・開始早期のデータでは何がガンマグロブリン不応例の検出に役 立つか 400mg/kg×5回(原則)の投与方法での検討	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1794-1797, 2003.
27回	2003年03月	中野 正大	岐阜県立多治見病院 小児科	急性期川崎病に対するわれわれの選択的ウリナスタチン・免疫グロブリン 併用療法の9年間の治療成績と新たな提言	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1798-1801, 2003.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
27回	2003年03月	馬場 國藏	西神戸医療センター 小児科	<指定発言>:川崎病遠隔期管理に関する新たな動き> 川崎病管理基準の改訂	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1802-1805, 2003.
27回	2003年03月	荻野 廣太郎	関西医科大学附属 洛西ニュータウン病院 小児科	<指定発言>:川崎病遠隔期管理に関する新たな動き > 川崎病カードの導入-「川崎病急性期カード」(日本川崎病研究会監修)が できるまで-	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1806-1811, 2003.
27回	2003年03月	鄭 輝男	兵庫県立こども病院 循環器科	<シンポジウム1:各医療機関は後遺症のない川崎病既往児をどのように 追跡しているか> こども病院の場合	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1812-1812, 2003.
27回	2003年03月	片山 博視	大阪医科大学 小児科	<シンポジウム1:各医療機関は後遺症のない川崎病既往児をどのように 追跡しているか> 大学病院の場合	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1813-1815, 2003.
27回	2003年03月	井藤 孝博	市立貝塚病院 小児科	<シンポジウム1:各医療機関は後遺症のない川崎病既往児をどのように 追跡しているか> 公立病院の場合	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1816-1816, 2003.
27回	2003年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 小児科	<シンポジウム1:各医療機関は後遺症のない川崎病既往児をどのように 追跡しているか> 私立(民間)病院の場合	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1817-1818, 2003.
27回	2003年03月	福田 毅	近畿大学医学部 小児科	<シンポジウム1:各医療機関は後遺症のない川崎病既往児をどのように 追跡しているか> アンケート調査報告	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1819-1824, 2003.
27回	2003年03月	松村 正彦 ほか	天理よろづ相談所病院 ほか	シンポジウムまとめ	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1825-1825, 2003.
27回	2003年03月	鈴木 淳子	東京通信病院 小児科	<シンポジウム2:後遺症のない既往児の追跡を終了することに問題はないか> 後遺症のない川崎病冠動脈の免疫組織化学的所見	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1826-1827, 2003.
27回	2003年03月	坂田 耕一	京都府立医科大学大学院 医学研究科 発達循環病態学	<シンポジウム2:後遺症のない既往児の追跡を終了することに問題はないか> 川崎病遠隔期の血管機能障害	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1828-1830, 2003.
27回	2003年03月	三谷 義英	三重大学医学部 小児科	川崎病遠隔期(5年以上)患児で「炎症反応」は陰性化しているか? -血中炎症性マーカー:新しい動脈硬化危険因子の検討	
27回	2003年03月	鮎沢 衛	日本大学医学部 小児科	<シンポジウム2:後遺症のない既往児の追跡を終了することに問題はないか> 後遺症のない川崎病既往児のフォローアップ状況	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1831-1832, 2003.
27回	2003年03月	上村 茂 ほか	和歌山県立医科大学 小児科 ほか	総合討論	PROGRESS IN MEDICINE 23 (7) 1833-1835, 2003.
28回	2004年03月	越後 茂之	国立循環器病センター 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1635-1635, 2004.
28回	2004年03月	前川 貴伸	近畿大学医学部奈良病院 小児科	急性肺炎を合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1636-1639, 2004.
28回	2004年03月	北野 尚美	海南市民病院 小児科	川崎病急性期に心不全を生じ、厳密な水分管理を要した幼児例	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1640-1644, 2004.
28回	2004年03月	武村 渡	東京通信病院 放射線科	6歳以下の川崎病例の冠動脈描出に対する MR Coronary Angiography の 検討 -体格に合わせた最適コイルの選択-	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1645-1650, 2004.
28回	2004年03月	平石 聰	北里大学医学部 小児科 (現・平石こどもクリニック)	<特別講演1> 川崎病症例の管理における心臓超音波検査の役割	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1651-1657, 2004.
28回	2004年03月	吉田 茂	神鋼加古川病院 小児科	咽後腫瘍類似の所見を呈する川崎病症例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1658-1662, 2004.
28回	2004年03月	川上 展弘	市立豊中病院 小児科	川崎病の参考条項について	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1663-1666, 2004.
28回	2004年03月	谷内 昇一郎	関西医科大学 小児科	川崎病患児のγグロブリン療法に対する反応性と白血球 Fcγ受容体遺伝子 多型との関連	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1667-1670, 2004.
28回	2004年03月	野中 善治	昭和大学横浜市北部病院 こどもセンター 小児内科	川崎病γグロブリン不応例の早期検出 -アルブミン・CRP・Na・総タンパクからみて-	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1671-1675, 2004.
28回	2004年03月	荻野 廣太郎	関西医科大学附属 洛西ニュータウン病院 小児科	免疫グロブリン追加投与症例の検討 -超大量用量の時代を迎えて-	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1676-1681, 2004.
28回	2004年03月	福井 次矢	京都大学大学院医学研究科 臨床疫学	<特別講演2> クリニカルリサーチのありかた	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1682-1684, 2004.
28回	2004年03月	大橋 潤子	国立循環器病センター 心臓内科	急性心筋梗塞に伴って発見された両側冠動脈拡張症の1例	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1685-1688, 2004.
28回	2004年03月	廣田 正志	国立循環器病センター 心臓血管外科	冠動脈バイパス手術を施行した石灰化巨大冠動脈瘤のある52歳症例に ついて -川崎病冠動脈障害との比較-	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1689-1693, 2004.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
28回	2004年03月	花谷 彰久	国立循環器病センター 小児科	幼少期冠動脈瘤の退縮後に心筋梗塞を発症し、虚血性心筋症となった1例	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1694-1697, 2004.
28回	2004年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 小児科	成人期心筋梗塞3例の臨床像	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1698-1703, 2004.
28回	2004年03月	松村 正彦	天理よろづ相談所病院 小児循環器科	川崎病後遺症に対して成人期にCABGを施行した3例	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1704-1708, 2004.
28回	2004年03月	芳本 潤	神戸市立中央市民病院 小児科	当院における川崎病冠動脈病変の長期予後	PROGRESS IN MEDICINE 24 (7) 1709-1712, 2004.
29回	2005年03月	濱岡 建城	京都府立医科大学 小児疾患研究施設 内科部門	川崎病-第29回近畿川崎病研究会:巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1767-1768, 2005.
29回	2005年03月	隅 清彰	箕面市立病院 小児科	川崎病不全型との鑑別が困難であった全身型若年性関節リウマチの1例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1769-1772, 2005.
29回	2005年03月	羽二生 尚訓	国立循環器病センター 小児科	両側眼球結膜充血がみられた心内膜炎の乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1773-1776, 2005.
29回	2005年03月	末永 智浩	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病冠動脈瘤残存例の遠隔期に片側視神経萎縮を生じた1例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1777-1780, 2005.
29回	2005年03月	福原 仁雄	日本赤十字社和歌山医療センター 第二小児科(心臓小児科)	高度僧帽弁閉鎖不全を合併し、僧帽弁置換術により救命し得た川崎病非典型乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1781-1786, 2005.
29回	2005年03月	池野 一秀	長野県立須坂病院 小児科	発熱4日、主要2症状の川崎病容疑例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1787-1790, 2005.
29回	2005年03月	坂東 賢二	和泉市立病院 小児科	当院の川崎病患者におけるアルブミン投与の影響についての検討	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1791-1794, 2005.
29回	2005年03月	野中 善治	昭和大学横浜市北部病院 こどもセンター 小児内科	γグロブリン不応例の早期検出-アルブミンとCRPの動きからみて	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1795-1798, 2005.
29回	2005年03月	原田 明佳	神戸市立中央市民病院 小児科	耳下腺炎との鑑別を要した川崎病の2例-その頸部CTとエコー所見について	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1799-1804, 2005.
29回	2005年03月	檜垣 高史	愛媛大学医学部 小児科	川崎病後遺症による僧帽弁閉鎖不全に感染性心内膜炎を合併した1例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1805-1808, 2005.
29回	2005年03月	岡部 孝明	京都大学大学院医学研究科 循環器内科学	免疫グロブリンの後期大量投与による実験的動脈硬化の抑制効果に関する検討	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1809-1812, 2005.
29回	2005年03月	松尾 真意	国立循環器病センター 小児科	20歳時の不明熱の既往から川崎病による冠動脈障害が疑われた48歳の症例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1813-1817, 2005.
29回	2005年03月	高 永煥	金沢医科大学 小児科	川崎病後の右冠動脈狭窄に対するPTCA後に完全閉塞を来すも無症状に経過した19歳男児例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1818-1822, 2005.
29回	2005年03月	村上 洋介	大阪市立総合医療センター 小児循環器内科	ローテーブルタ(PTCRA)を実施した川崎病後の高度石灰化を伴った右冠動脈セグメント狭窄の1例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1823-1826, 2005.
29回	2005年03月	稲葉 利佳子	東京通信病院 小児科	MRCAの2撮像法における川崎病冠動脈障害の画像診断	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1827-1832, 2005.
29回	2005年03月	武村 遼	東京通信病院 放射線科	川崎病冠動脈障害に対するMR coronary vessel wall imagingの検討	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1833-1836, 2005.
29回	2005年03月	三谷 義英	三重大学医学部 小児科	<最近の話題-8th International Kawasaki Disease Symposiumより-> 1) 研究分野	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1837-1839, 2005.
29回	2005年03月	片山 博視	大阪医科大学 小児科	<最近の話題-8th International Kawasaki Disease Symposiumより-> 2) 臨床分野	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1840-1843, 2005.
29回	2005年03月	越後 茂之	国立循環器病センター 小児科	<神谷哲郎先生追悼講演> 1)小児循環器医療における神谷哲郎先生の足跡	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1844-1847, 2005.
29回	2005年03月	鈴木 淳子	東京通信病院 小児科	<神谷哲郎先生追悼講演> 2)神谷哲郎先生と川崎病	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1848-1851, 2005.
29回	2005年03月	寺井 勝	千葉大学大学院医学研究院 小児病態学	<特別講演> 生物学的動態からみた川崎病の治療戦略	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1852-1855, 2005.
29回	2005年03月	金丸 博	広島市立舟入病院 小児科	当院における過去3年間の川崎病に対するガンマグロブリン大量療法(2g/kg/day)に伴う低体温の頻度とその要因、追加投与となる要因についての考察	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1856-1860, 2005.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
29回	2005年03月	小谷 智生	市立豊中病院 小児科	当院にてガンマグロブリンを投与しなかった川崎病症例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1861-1864, 2005.
29回	2005年03月	大阪川崎病 共同治療研 究グループ	大阪川崎病共同治療研究グループ	ステロイドパルス+ガンマグロブリン療法併用による初期治療に不応であった川崎病児例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1865-1867, 2005.
29回	2005年03月	董谷 太	大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科	Cyclosporineが著効した難治性川崎病の2歳男児例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1868-1872, 2005.
29回	2005年03月	高田 秀実	愛媛大学医学部 小児科	巨大冠動脈瘤に対するワルファリンコントロール中に卵巣出血を認めた1例	PROGRESS IN MEDICINE 25 (7) 1873-1876, 2005.
30回	2006年03月	吉林 宗夫	近畿大学医学部奈良病院 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1531-1532, 2006.
30回	2006年03月	宮越 千智	神戸市立中央市民病院 小児科	虫垂炎術後に川崎病症状が出現しガンマグロブリン治療を受けた6歳女児の1例	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1533-1536, 2006.
30回	2006年03月	高 永煥	金沢医科大学 発生発達医学 (小児科学)	γグロブリン大量療法中に無菌性髄膜炎を発症した川崎病の1例 —川崎病の合併症か、γグロブリンの副作用か—	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1537-1540, 2006.
30回	2006年03月	三村 由卯	近江八幡市民病院 小児科	生後15日で発症した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1541-1544, 2006.
30回	2006年03月	吉田 寿雄	大阪大学医学部附属病院 小児科	発症時有意な発熱と炎症所見を認めなかったが、冠動脈瘤を形成した1例	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1545-1548, 2006.
30回	2006年03月	水戸守 寿洋	大津赤十字病院 小児科	左右冠動脈瘤を認めた川崎病容疑例	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1549-1551, 2006.
30回	2006年03月	北村 則子	近畿大学医学部奈良病院 小児科	乏尿を伴って発症した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1552-1555, 2006.
30回	2006年03月	白井 文晶	滋賀医科大学 小児科学教室	当院における関節症状を伴う川崎病症例の臨床的検討	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1556-1559, 2006.
30回	2006年03月	中堀 輔	市立豊中病院 小児科	当科に頸部リンパ節炎で入院し、最終的に川崎病と診断された患児の検討 —再発時も含めて—	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1560-1562, 2006.
30回	2006年03月	寺口 正之	関西医科大学附属枚方病院 小児科	川崎病の冠動脈病変評価におけるマルチスライス CTの有用性 —超巨大冠動脈瘤を合併した小児例における検討—	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1563-1567, 2006.
30回	2006年03月	小林 奈歩	国立循環器病センター 小児科	マルチスライスCTによる川崎病冠動脈障害の描出 —選択的冠動脈造影との対比—	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1568-1571, 2006.
30回	2006年03月	北爪 勉	東京通信病院 小児科	川崎病後冠動脈障害における石灰化の MRA画像診断について	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1572-1576, 2006.
30回	2006年03月	武村 渡	東京通信病院 放射線科	川崎病冠動脈障害の心筋イメージング	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1577-1581, 2006.
30回	2006年03月	玉木 長良	北海道大学大学院医学研究科 核医学 教授	<特別講演1> PETによる川崎病心血管病変の評価	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1582-1586, 2006.
30回	2006年03月	村上 洋介	大阪市立総合医療センター 小児循環器内科	2005年度小学1年生における川崎病既往児の管理の状況と川崎病急性期 カードの普及度	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1587-1589, 2006.
30回	2006年03月	米田 正始	京都大学大学院医学研究科 器官外科 心臓血管外科 教授	<特別講演2> 重症川崎病患児に外科とすることができること	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1590-1594, 2006.
30回	2006年03月	齋木 宏文	兵庫県立こども病院 循環器科	急性期に大量の腹水貯留を来し、肝静脈閉塞性疾患の合併が疑われた川 崎病ガンマグロブリン不応例の1例	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1595-1599, 2006.
30回	2006年03月	村上 至孝	市立宇和島病院 小児科	難治性のぶどう膜炎に対しステロイド投与を必要とした川崎病 γグロブリン 不応の1例	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1600-1604, 2006.
30回	2006年03月	椛皮谷 朋子	阪南市立病院 小児科	IVIg療法不応例へのステロイドパルス療法後に神経症状を呈した川崎病 の1例	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1605-1608, 2006.
30回	2006年03月	藤原 誠	大阪川崎病共同治療研究グループ	川崎病難治例の追加治療についての検討	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1609-1612, 2006.
30回	2006年03月	檜垣 高史	愛媛県小児心疾患懇話会	愛媛県における川崎病ガンマグロブリン不応例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 26 (7) 1613-1618, 2006.
31回	2007年03月	村上 洋介	大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児循環器内科	巻頭言 —川崎病発表から40年を経て—	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1523-1524, 2007.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
31回	2007年03月	石原 温子	近畿大学医学部奈良病院 小児科	第5病日に臍索断裂に伴う僧帽弁閉鎖不全より肺水腫とショックを来した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1525-1528, 2007.
31回	2007年03月	原田 明佳	神戸市立医療センター 中央市民病院 小児科	ガンマグロブリン治療にて軽快退院後 1カ月の心エコーで初めて大量心嚢液貯留が認められた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1529-1534, 2007.
31回	2007年03月	井手 岳	社会保険紀南病院 小児科	同時期に川崎病と川崎病類似症状を呈した一卵性双生児	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1535-1539, 2007.
31回	2007年03月	木口 久子	広島市立広島市民病院 小児循環器科	Sustained VTを合併した川崎病後心機能低下の1例 —ICD植え込みをいつ行うか?—	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1540-1544, 2007.
31回	2007年03月	堀田 智仙	国立循環器病センター 小児科	川崎病既往患者の血流依存性血管拡張反応 (FMD)に関する検討	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1545-1549, 2007.
31回	2007年03月	保田 典子	大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児循環器内科	冠血流速度予備能 (CFVR)が管理に有用であった川崎病冠動脈障害 (閉塞後再疎通)の1成人例	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1550-1554, 2007.
31回	2007年03月	吉田 茂	名古屋大学医学部附属病院 医療経営管理部	川崎病の患者状態適応型バス (PCAPS)	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1555-1561, 2007.
31回	2007年03月	杉山 正伸	市立豊中病院 小児科	当院での川崎病再発例について	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1562-1564, 2007.
31回	2007年03月	山室 美穂	大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児救急科	川崎病急性期における血清 CLEIA IL-6の検討	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1565-1568, 2007.
31回	2007年03月	三谷 義英	三重大学大学院医学系研究科 小児発達医学	<特別講演1> 川崎病後遠隔期の血管病態 —その臨床的意義—	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1569-1573, 2007.
31回	2007年03月	勝又 庸行	東京通信病院 小児科	MR coronary angiographyにおける再疎通血管の描出と心筋障害の評価	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1574-1578, 2007.
31回	2007年03月	武村 遼	東京通信病院 放射線科	Soap bubble MIP画像再構成による再疎通血管描出の検討	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1579-1582, 2007.
31回	2007年03月	横田 俊平	横浜国立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学	<特別講演2> 病態から考えた治療法の展開 —血漿交換療法からサイトカイン遮断療法まで—	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1583-1588, 2007.
31回	2007年03月	尾崎 智康	大阪医科大学 小児科学教室	比較的急性期にサイクロスポリンを投与したが、両側巨大冠動脈瘤を認めた難治性川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1589-1595, 2007.
31回	2007年03月	末永 智浩	和歌山県立医科大学 小児科学教室	2003年～2006年の川崎病ガンマグロブリン大量療法不応症例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1596-1600, 2007.
31回	2007年03月	長谷川 泰浩	大阪厚生年金病院 小児科	重症川崎病に対するmPSLパルスとIVGG併用初期治療	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1601-1605, 2007.
31回	2007年03月	馬場 健児	松山赤十字病院 小児科	当施設におけるガンマグロブリン不応の川崎病に対するステロイドパルス療法	PROGRESS IN MEDICINE 27 (7) 1606-1609, 2007.
32回	2008年03月	中川 雅生	滋賀医科大学 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1649-1650, 2008.
32回	2008年03月	三好 洋子	箕面市立病院 小児科	川崎病の治療中に発症した Gianotti症候群の1例	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1651-1655, 2008.
32回	2008年03月	南 孝臣	社会保険紀南病院 小児科	川崎病様症状を呈したEBウイルス感染症の2例	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1656-1661, 2008.
32回	2008年03月	田中 篤志	彦根市立病院 小児科	川崎病の家族歴を有し、3度目の再発を来した1男児例	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1662-1664, 2008.
32回	2008年03月	河井 容子	京都府立医科大学大学院 医学研究科 小児循環器・腎臓病学	肺野に結節病変を認めた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1665-1668, 2008.
32回	2008年03月	藤井 喜充	中野こども病院	川崎病における上腸間膜動脈径の検討	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1669-1674, 2008.
32回	2008年03月	廣田 篤史	神戸市立医療センター 中央市民病院 小児科	川崎病罹患35年後に突然右腋窩動脈閉塞を来した1例および、当科における冠動脈外動脈瘤13例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1675-1682, 2008.
32回	2008年03月	柴田 晶美	滋賀医科大学 小児科	急性期の冠動脈拡大病変が軽度であったにもかかわらず右冠動脈の閉塞を来した川崎病既往の1例	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1683-1686, 2008.
32回	2008年03月	佐地 勉	東邦大学医療センター大森病院 第1小児科	<特別講演1> 川崎病治療におけるガンマグロブリン製剤の有効性と安全性	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1687-1693, 2008.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
32回	2008年03月	北爪 勉	東京逓信病院 小児科	MRIによる川崎病の冠動脈血管壁断面の検討	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1694-1699, 2008.
32回	2008年03月	丸谷 怜	近畿大学医学部 小児科学教室	MDCTによる川崎病冠動脈病変の遠隔期評価	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1700-1704, 2008.
32回	2008年03月	田中 瑞恵	国立国際医療センター 小児科	川崎病における異常Q波の意義 —当院の症例を検討して—	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1705-1708, 2008.
32回	2008年03月	川西 徹	国立医薬品食品衛生研究所 薬品部	<特別講演2> 小児における抗サイトカイン薬の功罪	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1709-1713, 2008.
32回	2008年03月	嶋尾 綾子	近畿大学医学部奈良病院 小児科	ガンマグロブリン、ステロイドパルス療法、infliximabに不応でcyclosporine が有効であった川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1714-1718, 2008.
32回	2008年03月	馬場 健児	松山赤十字病院 小児科	ガンマグロブリン不応の川崎病に対するシクロスポリンの使用経験	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1719-1725, 2008.
32回	2008年03月	笹瀬 紗知子	市立豊中病院 小児科	治療開始前に冠動脈拡大、瘤を認めた川崎病の症例について	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1726-1729, 2008.
32回	2008年03月	秋田 千里	金沢医科大学 小児科	3回目の川崎病発症の際に重篤な心血管合併症を併発した女児例	PROGRESS IN MEDICINE 28 (7) 1730-1734, 2008.
33回	2009年03月	鈴木 啓之	和歌山県立医科大学 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1637-1637, 2009.
33回	2009年03月	小田 真	堺市医師会 学校医会	堺市における川崎病の疫学調査 —発症時の地域間格差についての検討—	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1638-1641, 2009.
33回	2009年03月	土屋 浩史	市立豊中病院 小児科	治療前に白血球の増多を認めなかった川崎病患児の検討	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1642-1644, 2009.
33回	2009年03月	津野 嘉伸	社会保険紀南病院 小児科	頸部リンパ節腫脹のフォロー中に発熱と冠動脈変化を認め、川崎病不全 型と考えられた1例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1645-1649, 2009.
33回	2009年03月	壺井 伯彦	大津赤十字病院 小児科	BCGリンパ節炎を伴い特異なBCG感変化/リンパ節病変を残した川崎病 乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1650-1654, 2009.
33回	2009年03月	林 陽子	金沢医科大学 小児科	川崎病急性期におけるアレルギーの関与	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1655-1658, 2009.
33回	2009年03月	山根 秀一	日本生命済生会附属日生病院 小児科	退院後に消化管出血を認めた不全型川崎病例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1659-1664, 2009.
33回	2009年03月	小田中 豊	市立枚方市民病院 小児科	脳症様症状で発症し急性肺炎を合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1665-1668, 2009.
33回	2009年03月	深尾 大輔	日本赤十字社和歌山医療センター 第1小児科	けいれん重積型急性脳症を合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1669-1672, 2009.
33回	2009年03月	鈴木 淳子	東京逓信病院 小児科	MRIによる川崎病の冠動脈の経過観察	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1673-1676, 2009.
33回	2009年03月	丸谷 怜	近畿大学医学部 小児科学	MDCTによる川崎病冠動脈病変の評価における課題	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1677-1680, 2009.
33回	2009年03月	尾内 善広	独立行政法人理化学研究所 横浜研究所 ゲノム医科学研究センター 循環器疾患研究チーム	<特別講演> ゲノムワイドアプローチによる川崎病罹患感受性遺伝子の同定	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1681-1686, 2009.
33回	2009年03月	嶋尾 綾子	近畿大学医学部奈良病院 小児科	成人発症した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1687-1689, 2009.
33回	2009年03月	石津 宜丸	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 循環器科	川崎病類似の冠動脈瘤を認めた急性心筋梗塞の1例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1690-1694, 2009.
33回	2009年03月	廣田 篤史	神戸市立医療センター中央市民病 院 小児科	いわゆるリバウンド熱を来した症例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1695-1700, 2009.
33回	2009年03月	檜垣 高史	愛媛大学大学院医学系研究科 小児医学臨床中・循環器病センター 小児循環器部門	巨大冠動脈瘤を合併した川崎病症例の臨床経過	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1701-1707, 2009.
33回	2009年03月	高原 賢守	兵庫県立塚口病院 小児科	γグロブリン不応の川崎病に対して血漿交換療法を施行し奏効した2例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1708-1714, 2009.
33回	2009年03月	村上 至孝	市立宇和島病院 小児科	シクロスポリン(ネオール®)の投与方法を変更して軽快したガンマグロ ブリン不応の川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1715-1721, 2009.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
33回	2009年03月	荻野 廣太郎	日本川崎病学会 Infliximab療法に関する小委員会	<委員会報告> 我が国における難治性急性期川崎病に対する infliximab療法の現状 —3 回の使用実態調査結果から—	PROGRESS IN MEDICINE 29 (7) 1722-1727, 2009.
34回	2010年03月	三谷 義英	三重大学大学院医学系研究科 小児科学	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1821-1821, 2010.
34回	2010年03月	野崎 章仁	大津赤十字病院 小児科	川崎病の急性期治療中に汗疱様皮疹を生じた乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1822-1826, 2010.
34回	2010年03月	川上 展弘	市立豊中病院 小児科	当科の不全型川崎病の患児についての検討	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1827-1830, 2010.
34回	2010年03月	富田 安彦	神戸市立医療センター中央市民病 院 小児科	川崎病の病因についての一考察 —川崎病は、乳幼児の腸管免疫発達過程の、一時的なdysbiosisから生じ る—	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1831-1837, 2010.
34回	2010年03月	廣田 篤史	日本赤十字社医療センター 新生児科	急性期に心不全を来し治療に難渋した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1838-1842, 2010.
34回	2010年03月	福居 留依	宇治徳洲会病院 小児科	多臓器不全を来し、体外式膜型人工肺(ECLA)、血漿交換、透析にて救命 し得た劇症川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1843-1846, 2010.
34回	2010年03月	笠原 道雄	中野こども病院	ステロイドパルス療法後に巨大冠動脈瘤のみられた川崎病の男児例	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1847-1851, 2010.
34回	2010年03月	北本 晃一	津山中央病院 小児科	シクロスポリンが有効であった難治性川崎病の2歳男児例	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1852-1857, 2010.
34回	2010年03月	高原 賢守	兵庫県立塚口病院 小児集中治療 科	当院で川崎病γグロブリン不応例に対して血漿交換を施行した8症例 —当院でのAnti-inflammatory Strategyを中心に—	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1858-1863, 2010.
34回	2010年03月	山内 淳	加古川市民病院 小児科	当院における過去3年間の川崎病に対するガンマグロブリン大量療法不応 例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1864-1867, 2010.
34回	2010年03月	嶋尾 綾子	近畿大学医学部奈良病院 小児科	IVIG不応例に対する、ステロイドパルス、インフリキシマブを含む急性期川 崎病治療プロトコール —当科における242症例での検討—	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1868-1870, 2010.
34回	2010年03月	佐野 哲也	大阪川崎病治療研究会・ 大阪厚生年金病院 小児科	<シンポジウム> 近畿地区におけるIVIG不応(予測)例に対する急性期川崎病治療研究の 今後>	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1871-1873, 2010.
34回	2010年03月	荻野 廣太郎	関西医科大学 小児科、日本川崎病学会 Infliximab療法に関する小委員会	IVIG不応予測例に対するステロイドパルスとIVIG併用初期治療 <シンポジウム> 近畿地区におけるIVIG不応(予測)例に対する急性期川崎病治療研究の 今後	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1874-1878, 2010.
34回	2010年03月	中川 雅生	滋賀医科大学医学部附属病院 治療管理センター	Infliximab(レミケード)療法 <シンポジウム> 近畿地区におけるIVIG不応(予測)例に対する急性期川崎病治療研究の 今後 川崎病臨床研究の實施に当たって	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1879-1882, 2010.
34回	2010年03月	水谷 哲也	国立感染症研究所 ウイルス第1部	<特別講演1> 原因不明疾患における感染因子の網羅的解析 -川崎病との関わり-	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1883-1886, 2010.
34回	2010年03月	北爪 勉	東京通信病院 小児科	MRIにおける心臓イメージング —32チャンネルの使用経験—	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1887-1890, 2010.
34回	2010年03月	松尾 倫	国立循環器病研究センター 小児循環器部	Dual-Source CTによる小児(12歳以下)川崎病冠動脈病変評価の検討	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1891-1894, 2010.
34回	2010年03月	丸谷 怜	近畿大学医学部 小児科学教室	川崎病冠動脈障害に対するバイパス術後症例の MDCTによる評価	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1895-1898, 2010.
34回	2010年03月	三角 和雄	千葉西総合病院 院長	<特別講演2> 循環器内科医からみた川崎病後冠動脈病変と冠イベント —特にロータプレーター、エキシマレーザー、薬剤溶出性ステントによる最 新カテーテル治療の現状と問題点—	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1899-1904, 2010.
34回	2010年03月	檜垣 高史	愛媛大学大学院医学系研究科 小児医学	愛媛県における冠イベントを認めた川崎病既往者の検討	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1905-1910, 2010.
34回	2010年03月	坂東 賢二	兵庫県立尼崎病院 小児循環器内 科	冠動脈障害を伴う成人期川崎病既往者の現況と問題点	PROGRESS IN MEDICINE 30 (7) 1911-1914, 2010.
35回	2011年03月	坂崎 尚徳	兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1643-1643, 2011.
35回	2011年03月	野崎 章仁	大津赤十字病院 小児科	ミルクアレルギーのため再燃との鑑別に苦慮した川崎病の乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1644-1648, 2011.
35回	2011年03月	田中 麻希子	神戸市立医療センター中央市民病 院 小児科	咽後腫瘍様の所見を合併した川崎病の検討	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1649-1654, 2011.
35回	2011年03月	坂東 賢二	泉市立病院 小児科	肺炎を合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1655-1658, 2011.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
35回	2011年03月	岡山 千尋	済生会滋賀県病院 小児科	川崎病による心筋炎から心原性ショックを来した1例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1659-1662, 2011.
35回	2011年03月	石口 由希子	広島市立広島市民病院 循環器小児科	中枢神経系合併症を認めた川崎病の6例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1663-1667, 2011.
35回	2011年03月	渡辺 陽和	市立豊中病院 小児科	急性脳症を呈した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1668-1670, 2011.
35回	2011年03月	大西 徳子	地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川西市民病院 小児科	感音性難聴を合併した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1671-1674, 2011.
35回	2011年03月	北爪 勉	東京逓信病院 小児科	心臓MRIの新プロトコール —新MRI装置と32ch coil導入—	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1675-1679, 2011.
35回	2011年03月	布施 茂登	日本川崎病学会 小児冠動脈内径 標準値作成小委員会	冠動脈超音波検査の標準化	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1680-1683, 2011.
35回	2011年03月	丸谷 怜	近畿大学医学部 小児科学教室	MDCTを追跡に用いている16歳で発症した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1684-1687, 2011.
35回	2011年03月	鈴木 啓之	和歌山県立医科大学 小児科	<特別講演1> 川崎病の病因における新たな展望 —川崎病はスーパー抗原病?—	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1688-1691, 2011.
35回	2011年03月	津田 悦子	近畿川崎病研究会小委員会	<近畿川崎病研究会学術活動報告> 川崎病による巨大瘤をもつ患者の予後調査報告	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1692-1692, 2011.
35回	2011年03月	篠原 徹	近畿川崎病研究会 急性期カード普及調査委員会	<近畿川崎病研究会学術活動報告> 川崎病急性期カード使用状況調査	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1693-1699, 2011.
35回	2011年03月	末永 智浩	和歌山県立医科大学 小児科	当院で経過観察中の川崎病巨大冠動脈瘤合併例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1700-1703, 2011.
35回	2011年03月	山内 淳	兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科	当院における巨大冠動脈瘤合併例の臨床的検討	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1704-1707, 2011.
35回	2011年03月	藤本 一途	国立循環器病研究センター 小児循環器科	川崎病冠動脈障害に対する3枝バイパス術後24年経過しSVG内血栓により後下壁梗塞を発症した1例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1708-1713, 2011.
35回	2011年03月	高原 賢守	兵庫県立塚口病院 小児集中治療科	IVIg不応例に対する血漿交換療法を含めた川崎病急性期治療プロトコールの提案 —過去4年間192例の検討より—	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1714-1721, 2011.
35回	2011年03月	岩佐 充二	名古屋第二赤十字病院 小児科	川崎病ガンマグロブリン不応例に対する血漿交換療法	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1722-1725, 2011.
35回	2011年03月	田本 直弘	鳥取大学医学部 周産期・小児医学	シクロスポリンが奏効した難治性川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1726-1729, 2011.
35回	2011年03月	井上 真太郎	加古川東市民病院(旧・神樂加古川病院) 小児科	当院における川崎病に対するウリナスタチン大量療法 8年間の成績	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1730-1734, 2011.
35回	2011年03月	天羽 清子	大阪市立総合医療センター 小児救急科	当院における学童期川崎病の特徴	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1735-1739, 2011.
35回	2011年03月	賀藤 均	国立成育医療研究センター病院 器管病態系内科(循環器科)	<特別講演2> 川崎病における最新の治療戦略	PROGRESS IN MEDICINE 31 (7) 1740-1745, 2011.
36回	2012年03月	寺口 正之	中野こども病院	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1405-1406, 2012.
36回	2012年03月	東田 有加	関西医科大学 小児科学講座	発熱を認めず冠動脈拡大を来した不全型川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1407-1411, 2012.
36回	2012年03月	樋口 真司	大津赤十字病院 小児科	当科における川崎病患者の臨床的検討	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1412-1415, 2012.
36回	2012年03月	石口 由希子	広島市立広島市民病院 循環器小児科	川崎病急性期に肺炎・Henoch-Shonlein紫斑病(HSP)を発症した1例	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1416-1420, 2012.
36回	2012年03月	坂田 園子	広島市立広島市民病院 循環器小児科	腹部症状により発症し小児外科に紹介となった川崎病	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1421-1425, 2012.
36回	2012年03月	石井 敏介	中野こども病院	当院における過去10年間の川崎病再発例の臨床的検討	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1426-1429, 2012.
36回	2012年03月	深尾 大輔	日本赤十字社和歌山医療センター 小児科	川崎病急性期における尿中β2ミクログロブリン値の検討	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1430-1433, 2012.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
36回	2012年03月	泉井 雅史	大阪厚生年金病院 小児科	急性期川崎病に対するIVIG治療前後の左室拡張能の指標の変化	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1434-1437, 2012.
36回	2012年03月	富永 健太	兵庫県立こども病院 循環器科	PCPS長期管理にて救命し得た川崎病巨大冠動脈瘤による急性心筋梗塞の1例	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1438-1442, 2012.
36回	2012年03月	北爪 勉	東京逓信病院 小児科	MR心筋造影における川崎病後局所性狭窄による心筋虚血の評価	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1443-1447, 2012.
36回	2012年03月	丸谷 怜	近畿大学医学部 小児科学教室	MDCTによる川崎病石灰化病変の経時的変化の検討	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1448-1451, 2012.
36回	2012年03月	金子 一成	関西医科大学 小児科学教室	<特別講演 I> 川崎病における低ナトリウム血症の意義	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1452-1455, 2012.
36回	2012年03月	篠原 徹	近畿川崎病研究会 急性期カード普及調査委員会	<小委員会報告> 川崎病急性期カード使用状況調査のその後	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1456-1459, 2012.
36回	2012年03月	津田 悦子	近畿川崎病研究会 小委員会	<小委員会報告> 川崎病による巨大瘤をもつ患者の予後調査報告	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1460-1460, 2012.
36回	2012年03月	田中 麻希子	神戸市立医療センター中央市民病院 小児科	急性期アスピリン非投与川崎病コホートの臨床転帰	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1461-1464, 2012.
36回	2012年03月	向井 文雄	倉敷中央病院 小児科	不全型川崎病における冠動脈病変の頻度とガンマグロブリン治療に関する比較検討	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1465-1468, 2012.
36回	2012年03月	垣本 信幸	和歌山県立医科大学 小児科	IVIG不応川崎病症例に対するCsA療法時の血中カリウム濃度の検討	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1469-1473, 2012.
36回	2012年03月	高原 賢守	兵庫県立塚口病院 小児集中治療科	重症川崎病症例のサイトカイン測定による川崎病病態解明についての検討 —血漿交換療法施行症例 31例の検討より—	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1474-1478, 2012.
36回	2012年03月	荻野 廣太郎	関西医科大学 小児科	追加治療としてインフリキシマブあるいは血漿交換を受けた患者群の背景分析と冠動脈障害発生頻度 —第21回川崎病全国調査資料から—	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1479-1482, 2012.
36回	2012年03月	大原 関 利章, 高橋 啓	東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科	<特別講演 II> 川崎病血管炎の病理 —カンジダ誘導血管炎モデルからわかること—	PROGRESS IN MEDICINE 32 (7) 1483-1485, 2012.
37回	2013年03月	津田 悦子	国立循環器病研究センター 小児循環器科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1449-1449, 2013.
37回	2013年03月	後藤 信哉	東海大学医学部 内科学系 循環器内科学	<特別講演 I> 冠動脈疾患における抗血栓療法	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1450-1453, 2013.
37回	2013年03月	保坂 泰介	中野こども病院	川崎病罹患時に環軸椎回旋位固定を併せた 5歳女児例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1454-1457, 2013.
37回	2013年03月	末永 智浩	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病の急性期に突発性発疹を併発した 1例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1458-1460, 2013.
37回	2013年03月	井上 智弘	近畿大学医学部 小児科	年長のため川崎病が病初期に診断されなかった 3症例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1461-1465, 2013.
37回	2013年03月	井庭 憲人	日本赤十字社和歌山医療センター 小児科	ステロイドパルス6日後に再燃し冠動脈瘤を形成した川崎病の 3歳男児例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1466-1470, 2013.
37回	2013年03月	蘆田 温子	市立枚方市民病院 小児科	RAISE studyに基づき治療を行ったが、両側巨大冠動脈瘤を形成した難治性川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1471-1474, 2013.
37回	2013年03月	田口 周馬	京都大学医学部附属病院 小児科	アルブミン全置換血漿交換療法により凝固因子の一過性喪失を来した川崎病乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1475-1478, 2013.
37回	2013年03月	平井 聖子	国立循環器病研究センター 小児循環器科	川崎病による無症候性冠動脈閉塞をもつ患者の左室壁運動について —2Dスベックトラッキングを用いた検討—	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1479-1482, 2013.
37回	2013年03月	佐々木 昶	大阪市立総合医療センター 小児循環器内科	心臓カテーテル検査を施行した冠動脈後遺症例の外來経過の検討	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1483-1487, 2013.
37回	2013年03月	星野 真介	国立循環器病研究センター 小児循環器科	Implantable Cardioverter Defibrillator(植え込み型除細動器)治療を施行した川崎病既往3症例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1488-1494, 2013.
37回	2013年03月	小森 暁子	国立循環器病研究センター 小児循環器科	ST低下のある川崎病冠動脈障害合併妊娠の 2例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1495-1500, 2013.
37回	2013年03月	中村 知久	国立循環器病研究センター 心臓血管内科	急激に心機能が低下した成人川崎病既往の 1例	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1501-1505, 2013.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
37回	2013年03月	深澤 隆治	日本医科大学 小児科	<ラウンドテーブル> 巨大冠動脈瘤全国調査における死亡例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1506-1512, 2013.
37回	2013年03月	長尾 吉郎	相雲会小野田病院	日本における川崎病の出現と罹患率上昇の原因について	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1513-1517, 2013.
37回	2013年03月	富田 安彦	兵庫県予防医学協会 健診センター	川崎病の急性期症状と血清免疫グロブリン A, Mの特異的な動きについて —臨床からの病態へのアプローチ—	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1518-1529, 2013.
37回	2013年03月	吉澤 弘行	奈良県立医科大学 小児科	川崎病による冠動脈障害をもつ患者の高感度 CRP値の検討	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1530-1535, 2013.
37回	2013年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 小児科	追跡脱落例への対応 —主治医からの呼びかけへの反応—	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1536-1538, 2013.
37回	2013年03月	松原 知代	順天堂大学医学部附属静岡病院 小児科	<特別講演Ⅱ> 川崎病のサイトサイン —原点から今後の展望—	PROGRESS IN MEDICINE 33 (7) 1539-1543, 2013.
38回	2014年03月	萱谷 太	大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1203-1203, 2014.
38回	2014年03月	西 一美	近畿大学医学部 小児科学教室	眼窩蜂窩織炎、耳下腺炎で発症した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1204-1206, 2014.
38回	2014年03月	中村 香絵	大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児循環器内科	心室細動で救急搬送された川崎病性右巨大冠動脈瘤完全閉塞に対し、緊急冠動脈内血栓溶解療法を施行し救命し得た1歳男児例	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1207-1211, 2014.
38回	2014年03月	寺川 由美	和泉市立病院 小児科	血漿交換が奏効した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1212-1215, 2014.
38回	2014年03月	若原 良平	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学	日齢8には解熱していたにもかかわらず瘤形成を来した1例 —ネオプテリンとベントラキシン3による検討—	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1216-1219, 2014.
38回	2014年03月	古川 富美枝	社会医療法人同仁会 みみはら高砂クリニック 小児科	川崎病既往児の長期フォロー中に判明した低コレステロール血症（家族性低βリポ蛋白血症）の2例	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1220-1224, 2014.
38回	2014年03月	山本 英一	愛媛県立中央病院 小児科	当院における川崎病年長発症例の臨床的検討	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1225-1230, 2014.
38回	2014年03月	藤野 寿典	大阪赤十字病院 小児科	当院における過去3年間の川崎病93例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1231-1235, 2014.
38回	2014年03月	岡本 宣浩	金沢医科大学 小児科	PFAPA症候群の経過中に発症した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1236-1239, 2014.
38回	2014年03月	土岐 真	金沢医科大学 小児科	好中球減少症と川崎病症状顕在化との関連：2症例の経験から	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1240-1244, 2014.
38回	2014年03月	末永 智浩	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病急性期におけるマトリックスメタロプロテアーゼ-3 (MMP-3) と関節症状との関連性	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1245-1249, 2014.
38回	2014年03月	鈴木 淳子	八重洲クリニック、 東京通信病院(嘱託)	MRIによる川崎病冠動脈障害の経過観察 —特に瘤内血栓の経過—	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1250-1256, 2014.
38回	2014年03月	尾内 善広	千葉大学大学院医学研究院 環境健康科学講座 公衆衛生学	<特別講演Ⅰ> 川崎病の遺伝背景解明にむけて —成果と課題—	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1257-1261, 2014.
38回	2014年03月	丸谷 怜	近畿大学医学部 小児科学教室	当院におけるウリナスタテンを併用した川崎病急性期治療の検討	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1262-1264, 2014.
38回	2014年03月	赤川 翔平	中野こども病院	川崎病の初期治療におけるステロイドパルス・免疫グロブリン併用症例の検討	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1265-1269, 2014.
38回	2014年03月	竹中 聡	JCHO九州病院 (旧九州厚生年金病院) 小児科、たけなかこどもクリニック	Infliximab投与を必要とした難治性川崎病24症例 (うち1歳未満9例) の急性期・中期遠隔期成績について	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1270-1277, 2014.
38回	2014年03月	鉢崎 竜範	横浜市立大学附属病院 小児科	<特別講演Ⅱ> インフリキシマブと血漿交換が追加治療の両翼を担う重症川崎病に対する段階的治療法の実験	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1278-1281, 2014.
38回	2014年03月	高原 賢守	兵庫県立塚口病院 小児救急集中治療科	<シンポジウム> 重症川崎病に対する血漿交換療法施行の現状 —血漿交換療法施行60例の検討より—	PROGRESS IN MEDICINE 34 (7) 1282-1287, 2014.
38回	2014年03月	鶴池 清	九州大学病院 小児科	<シンポジウム> Infliximab不応例の検討とその対応	
39回	2015年03月	片山 博視	大阪医科大学附属病院 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1107-1107, 2015.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
39回	2015年03月	五味 久仁子	関西労災病院 小児科	生後1カ月半で発症した川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1108-1111, 2015.
39回	2015年03月	橋高 祐子	金沢医科大学病院 小児科	川崎病急性期における線溶系の推移	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1112-1115, 2015.
39回	2015年03月	小林 奈歩	京都第二赤十字病院 小児科	当院における川崎病急性期症例の群馬スコアの検討	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1116-1120, 2015.
39回	2015年03月	上原 陽治	日野記念病院 小児科	Yersinia enterocolitica感染を認めた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1121-1124, 2015.
39回	2015年03月	堀之内 智子	姫路赤十字病院 小児科	当院の1年間の川崎病患者におけるエルシニア抗体・抗 YPM抗体の上昇	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1125-1128, 2015.
39回	2015年03月	石口 由希子	広島市立広島市民病院 循環器小児科	過去3年間に於ける川崎病IVIG不応例の臨床像	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1129-1132, 2015.
39回	2015年03月	尾崎 智康	大阪医科大学 泌尿生殖・ 発達医学講座 小児科学教室	インフリキシマブ投与が著効した、2度の血漿交換療法にも不応の難治性川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1133-1137, 2015.
39回	2015年03月	平井 健太	岡山大学病院 小児循環器科	プレドニゾン療法中に微熱が遷延し、巨大冠動脈瘤を生じた川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1138-1142, 2015.
39回	2015年03月	立花 伸也	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病主要症状2/6で超巨大冠動脈瘤を形成した5カ月女児の1例	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1143-1148, 2015.
39回	2015年03月	濱岡 建城	京都府立医科大学大学院 医学研究科 小児循環器・腎臓学	<特別講演 I> 川崎病冠動脈障害の遠隔期における問題点 —いま、何が注目され、明らかとなってきているか—	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1149-1155, 2015.
39回	2015年03月	井上 真依子	愛媛大学大学院医学系研究科 小児科学	心筋炎、DICを合併し集中治療を必要とした川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1156-1160, 2015.
39回	2015年03月	石原 温子	兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科	経皮的人工補助循環を必要とした川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1161-1164, 2015.
39回	2015年03月	山本 英一	愛媛県立中央病院 小児科	当院における僧帽弁閉鎖不全、心不全を伴った川崎病の特徴	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1165-1170, 2015.
39回	2015年03月	高原 賢守	兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急科	重症川崎病における臓器不全合併例での当院の管理方法 —心不全・腎不全・呼吸不全・急性脳症症例の経験より—	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1171-1176, 2015.
39回	2015年03月	吉村 健	関西医科大学 小児科学講座	貧血により心筋虚血が顕著となった冠動脈瘤合併川崎病既往の1成人例	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1177-1181, 2015.
39回	2015年03月	久保 慎吾	京都府立医科大学附属病院 小児循環器・腎臓科	Hemoscope®による3DCT画像のCFD (computational fluid dynamics) 解析	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1182-1186, 2015.
39回	2015年03月	辻井 信之	国立循環器病研究センター 小児循環器科	川崎病冠動脈障害における Dual-Source Computed Tomography (DSCT) の有用性	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1187-1192, 2015.
39回	2015年03月	篠原 徹	近畿大学医学部 小児科	MDCTを用いた川崎病冠動脈病変の経過観察	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1193-1197, 2015.
39回	2015年03月	横井 宏佳	福岡山王病院 循環器センター	<特別講演 II> 川崎病冠動脈病変に対するカテーテル治療後の長期予後	PROGRESS IN MEDICINE 35 (7) 1198-1201, 2015.
40回	2016年03月	城戸 佐知子	兵庫県立こども病院 循環器内科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 847-848, 2016.
40回	2016年03月	草野 信義	近畿大学医学部 小児科学教室	遠隔期川崎病冠動脈病変の dual-energy CTによる評価	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 849-852, 2016.
40回	2016年03月	玉城 渉	高知大学医学部 小児思春期医学	川崎病冠動脈障害における心磁図と12誘導心電図の比較	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 853-858, 2016.
40回	2016年03月	松本 順彦	国立循環器病研究センター 心臓血管外科	川崎病冠動脈病変に対して da Vinci Surgical Systemを用いて内胸動脈採取し、MIDCAB施行した2例	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 859-862, 2016.
40回	2016年03月	池田 和幸	京都府立医科大学大学院 医学研究科 小児循環器・腎臓学	京都地区におけるステロイド初期併用療法の効果検証	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 863-869, 2016.
40回	2016年03月	一木 美穂	近畿大学医学部奈良病院 小児科	川崎病におけるウリナスタチンを加えたステロイド初期併用療法の経験	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 870-874, 2016.
40回	2016年03月	岡本 吉生	香川県立中央病院 小児科	Infliximab (レミケード®) による副作用と考えられた当施設における川崎病6症例の報告	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 875-878, 2016.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
40回	2016年03月	高原 賢守	兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科	IVIG・ステロイド早期併用療法に不応で血漿交換療法を要した 16症例の臨床経過について	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 879-882, 2016.
40回	2016年03月	岡田 清吾	広島市立広島市民病院 循環器小児科	血漿交換療法にガンマグロブリン大量療法を追加し、冠動脈病変の進行抑制が得られた股関節炎合併川崎病の 1例 —血圧コントロールの有用性について—	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 883-887, 2016.
40回	2016年03月	西角 元一	大津赤十字病院 小児科	診断の困難さから冠動脈瘤を形成した不全型川崎病の乳児例 —BCG痘発赤は診断の有力な補助となり得るか—	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 888-891, 2016.
40回	2016年03月	垣本 信幸	和歌山県立医科大学 小児科	川崎病冠動脈病変の疑いが契機となり発見された右冠動脈右室瘻の 1例	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 892-895, 2016.
40回	2016年03月	布施 茂登	NTT東日本札幌病院 小児科	川崎病以外の冠動脈疾患と冠動脈径 Zスコアの応用	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 896-901, 2016.
40回	2016年03月	岡本 光宏	明石医療センター 小児科	マイコプラズマ肺炎の経過中に高サイトカイン血症が示唆され川崎病に至った同胞例	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 902-905, 2016.
40回	2016年03月	大島 理利	滋賀医科大学医学部附属病院 小児科	マイコプラズマ肺炎の経過中に発症し、巨大冠動脈瘤を合併した不全型川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 906-910, 2016.
40回	2016年03月	上村 和也	兵庫県立こども病院 循環器内科	径8mmの冠動脈瘤の破裂により死亡した川崎病の 1乳児例	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 911-915, 2016.
40回	2016年03月	小林 奈歩	京都第二赤十字病院 小児科	当院で治療した川崎病年長発症例の臨床的検討	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 916-920, 2016.
40回	2016年03月	新井 千恵	神戸市立医療センター中央市民病院 小児科	Regression症例の中遠隔期冠動脈の成長に関する検討	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 921-924, 2016.
40回	2016年03月	津田 悦子	国立循環器病研究センター 小児循環器科	川崎病による冠動脈瘤退縮後遠隔期に出現した狭窄性病変	PROGRESS IN MEDICINE 36 (7) 925-927, 2016.
41回	2017年03月	三宅 俊治	近畿大学医学部奈良病院 小児科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 795-795, 2017.
41回	2017年03月	蘆田 温子	大阪医科大学附属病院 小児科	3rd-line治療後も微熱が遷延し、炎症性疾患の鑑別が必要であった難治性川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 796-799, 2017.
41回	2017年03月	池田 和幸	京都府立医科大学 小児科	全身型若年性特発性関節炎との鑑別に苦慮した心タンポナーデ併発川崎病の1例	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 800-804, 2017.
41回	2017年03月	宮本 真知子	松山市民病院 小児科、 愛媛県立中央病院 小児科	肺炎+発疹のみで冠動脈瘤を来した不全型川崎病の 4カ月男児例	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 805-809, 2017.
41回	2017年03月	岡本 吉生	香川県立中央病院 小児科	経過中に治療抵抗性との鑑別に苦慮した NSAIDs (フルルビプロフェン)による薬剤アレルギーを呈した川崎病 1症例	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 810-813, 2017.
41回	2017年03月	鳥越 史子	大阪大学大学院医学系研究科 小児科学	植込み型補助人工心臓装着で心移植待機中の川崎病後虚血性心筋症の 1例	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 814-818, 2017.
41回	2017年03月	羽山 陽介	国立循環器病研究センター 小児循環器科	川崎病遠隔期に血栓閉塞した左主幹部感染性動脈瘤の破裂を来した 8歳男児例	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 819-824, 2017.
41回	2017年03月	草野 信義	近畿大学医学部 小児科学教室	当院で追跡中の川崎病巨大冠動脈瘤患者の経過報告	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 825-829, 2017.
41回	2017年03月	清澤 伸幸	京都第二赤十字病院 検査部	近畿地区で行った川崎病症例の再検討	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 830-834, 2017.
41回	2017年03月	宮越 千智	神戸市立医療センター中央市民病院 小児科	急性期に二方向性心室性不整脈を認めた川崎病の 1例	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 835-838, 2017.
41回	2017年03月	井上 智弘	近畿大学医学部奈良病院 小児科	川崎病に対するステロイド初期併用療法例における非持続性心室頻拍について	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 839-842, 2017.
41回	2017年03月	石口 由希子	広島市立広島市民病院 循環器小児科	川崎病における胸部X線撮影の意義	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 843-847, 2017.
41回	2017年03月	坂東 賢二	和泉市立病院 小児科	免疫グロブリン不応ハイリスク症例に対するウリナスタテン初期併用療法について	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 848-853, 2017.
41回	2017年03月	高原 賢守	兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科	当院のIVIG不応例に対する段階的治療戦略の現状と今後の課題 —血漿交換施行105例を含む3rd Line以降の治療を要した症例での検討	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 854-857, 2017.
41回	2017年03月	森 雅亮	東京医科歯科大学大学院 歯学 総合研究科 生涯免疫病学講座	<特別講演> 川崎病治療における生物学的製剤の位置づけ	PROGRESS IN MEDICINE 37 (7) 858-862, 2017.

開催回	開催年月	講演者 筆頭著者	所属	演題名	投稿誌
42回	2018年03月	白石 淳	京都第一赤十字病院 心臓センター 循環器内科	巻頭言	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 689-690, 2018.
42回	2018年03月	井口 貴文	滋賀医科大学医学部附属病院 小児科	環軸椎回旋位固定を来した不全型川崎病の 1例	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 691-694, 2018.
42回	2018年03月	安井 沙耶	愛媛県立中央病院 小児科	亜急性期に関節炎を合併しリウマチ性疾患との鑑別を要した川崎病 2例	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 695-699, 2018.
42回	2018年03月	岡本 吉生	香川県立中央病院 小児科	IVIg製剤の血管外漏出後に瘢痕が残存した川崎病症例	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 700-702, 2018.
42回	2018年03月	平野 翔堂	市立豊中病院 小児科, 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 小児神経科	川崎病を発症した血友病男児の 1例	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 703-705, 2018.
42回	2018年03月	森藤 祐次	広島市立広島市民病院循環器 小児科	血漿交換療法+メチルプレドニゾンパルス療法同時施行により冠動脈病変進行を阻止できた川崎病の 2例	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 706-710, 2018.
42回	2018年03月	大西 聡	愛仁会高槻病院 小児科, 同 小児集中治療科	IVIg不応性川崎病の治療方針 —血漿交換療法の位置づけ—	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 711-715, 2018.
42回	2018年03月	高原 賢守	兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科, 同 小児救急集中治療科	当院におけるIVIg不応性川崎病に対する3rd Line以降の治療法の変遷 についての検討	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 716-719, 2018.
42回	2018年03月	高原 賢守	兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科, 同 小児救急集中治療科	IVIg不応性川崎病におけるサイトカインおよびBNPと冠動脈病変との相 関に関する検討	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 720-722, 2018.
42回	2018年03月	青田 千恵	神戸市立医療センター中央市民病 院 小児科	川崎病の病歴を欠く冠動脈瘤・陳旧性心筋梗塞の 1例	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 723-726, 2018.
42回	2018年03月	草野 信義	近畿大学医学部 小児科学教室	Dual-energy CTによる川崎病冠動脈石灰化の経時的変化の検討例	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 727-730, 2018.
42回	2018年03月	岡本 亜希子	京都府立医科大学 小児科	近畿地区における遠隔期川崎病症例についてのアンケート調査	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 731-735, 2018.
42回	2018年03月	鮎沢 衛	日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野	<特別講演Ⅰ> 成人期川崎病診療における内科医への期待と要望	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 736-742, 2018.
42回	2018年03月	上野 高史	久留米大学病院 循環器病センター	<特別講演Ⅱ> 循環器専門医が考える成人になった川崎病患者	PROGRESS IN MEDICINE 38 (7) 743-749, 2018.